

◆ 砂川市障害福祉計画策定に係るアンケート調査の概要

1 調査の目的

障害福祉サービスの必要量を見込むために、これまでのサービスの利用実態をもとに、障がいのある人の実情、ニーズを把握する必要があるため、障害福祉サービスを利用している方、障害児通所支援サービスを利用している方、障害者手帳（身体・知的・精神）の交付を受けている方及び指定難病に該当する方を対象にアンケート調査を実施した。

2 調査期間

令和2年11月20日（金）から令和2年12月11日（金）まで

3 調査対象者 859名

【内訳】

(1) 障害福祉サービスの支給決定を受けている方	284名
(2) 障害児通所支援サービスの支給決定を受けている方	63名
(3) 障害者手帳（身体・知的・精神）の交付を受けている方	493名
(4) 難病の認定を受けている方	19名

※(1)・(2)に該当する方は全員を調査対象者とし、(3)・(4)については、該当する方のうちそれぞれ約3割にあたる方を無作為で抽出のうえ調査対象とした。

4 調査基準日

令和2年11月1日現在

5 調査方法

調査票を対象者に郵送し、無記名にて回答後、同封の返信用封筒（社会福祉課社会福祉係あて）で調査票を回収する方法で実施した。

※調査票を本人が回答することについて難しい場合は、家族や支援者が本人の意向を尊重して記入いただくよう依頼した。

○集計表及びグラフの比率は百分率で表し、小数点以下第1位を四捨五入して算出するため、合計が100%とまらない場合もあります。

○回答者を「全体」と、種別ごとに「身体障がいのある人」、「知的障がいのある人」、「精神障がいのある人」、「難病の認定を受けている人」、「発達障がいのある人」、「高次脳機能障がいのある人」、「障がいのある児童」に分け、棒グラフで表しました。なお、集計表及びグラフ内では名称を省略しております。

○グラフ内の(n)はその設問の未回答を含む集計対象の総数です。

○集計は種別ごとに行っているため、複数の障がいに該当する場合は、それぞれの種別で集計します。そのため、種別ごとの総数(n)の合計と全体の総数(n)は一致しません。

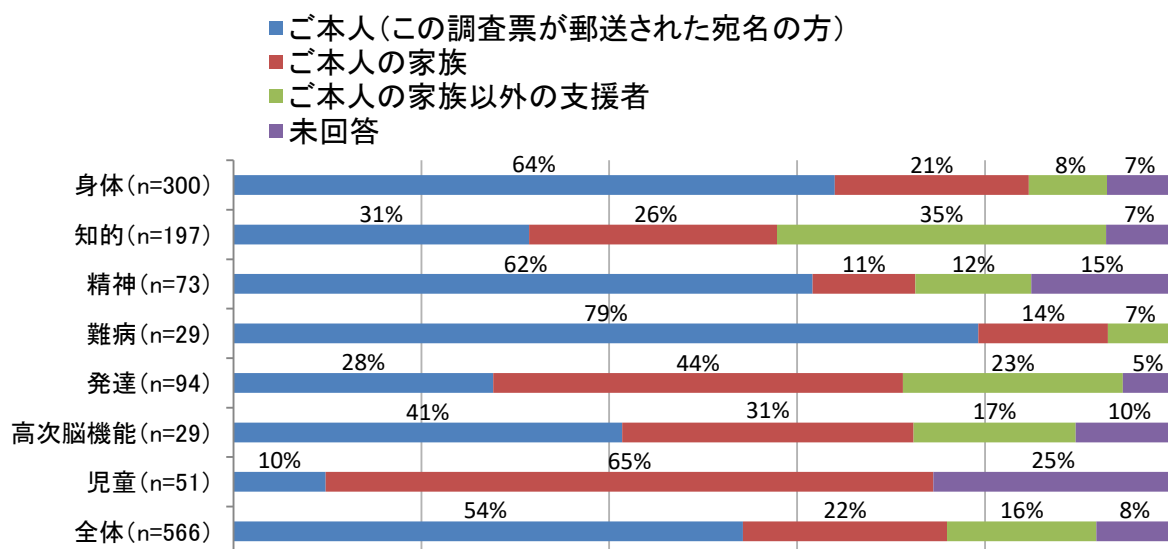
○複数回答の設問の場合は、比率の合計が100%を超える場合があります。

アンケート調査結果

【回収結果】

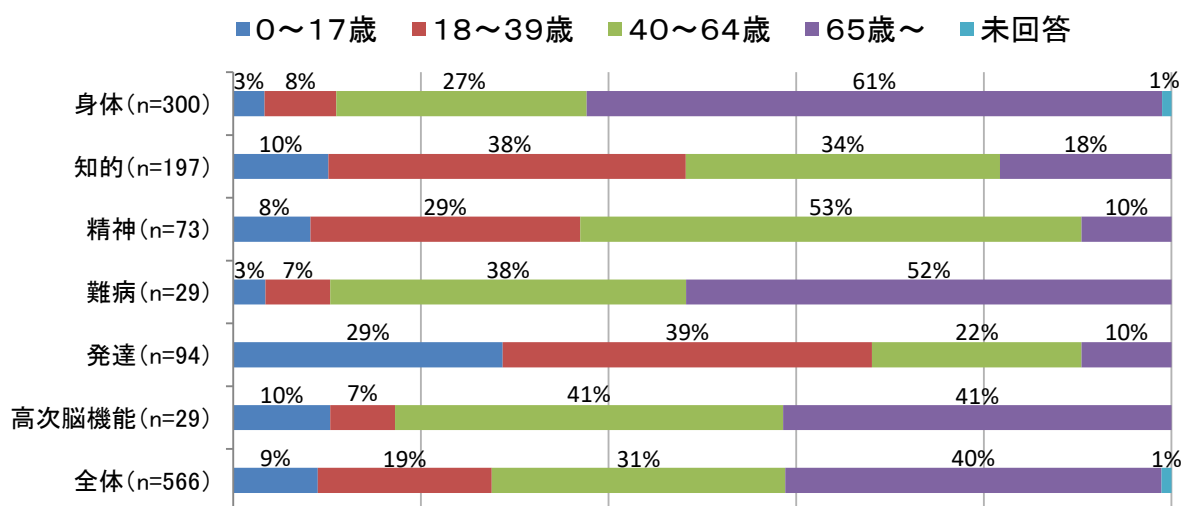
調査対象者	回収数	回収率
859	566	65.9%

問1 お答えいただくのは、どなたですか。



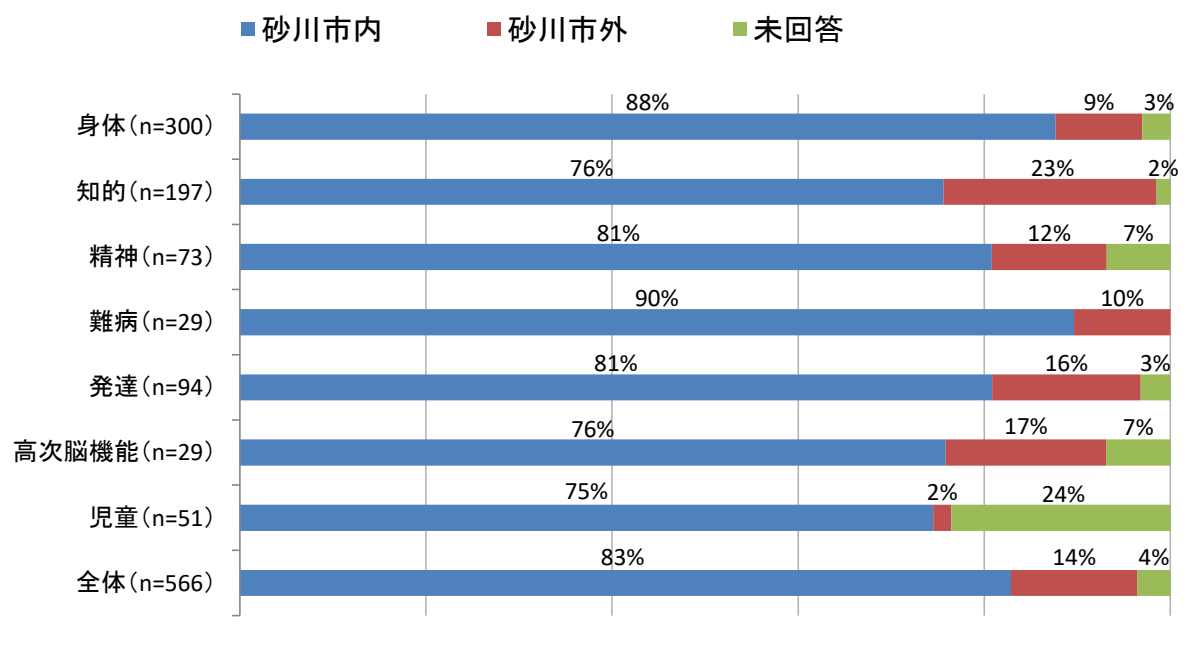
アンケートの回答者について、全体では「ご本人」が54%と最も高く、次いで「ご本人の家族」が22%と高い割合となっています。

問2 あなたの年齢をお答えください。



アンケート回答者の年齢について、全体では「65歳～」が40%と最も高く、次いで「40~64歳」が31%と高い割合となっています。

問3 現在、あなたがお住まいの地域はどこですか。



お住まいの地域について、全体では「砂川市内」が83%と最も高く、次いで「砂川市外」が14%となっています。障がい別にみると、「砂川市外」と回答した割合は、知的障がいのある人の23%が最も高い割合となっています。

問4 現在、あなたが一緒に暮らしている人は、どなたですか。

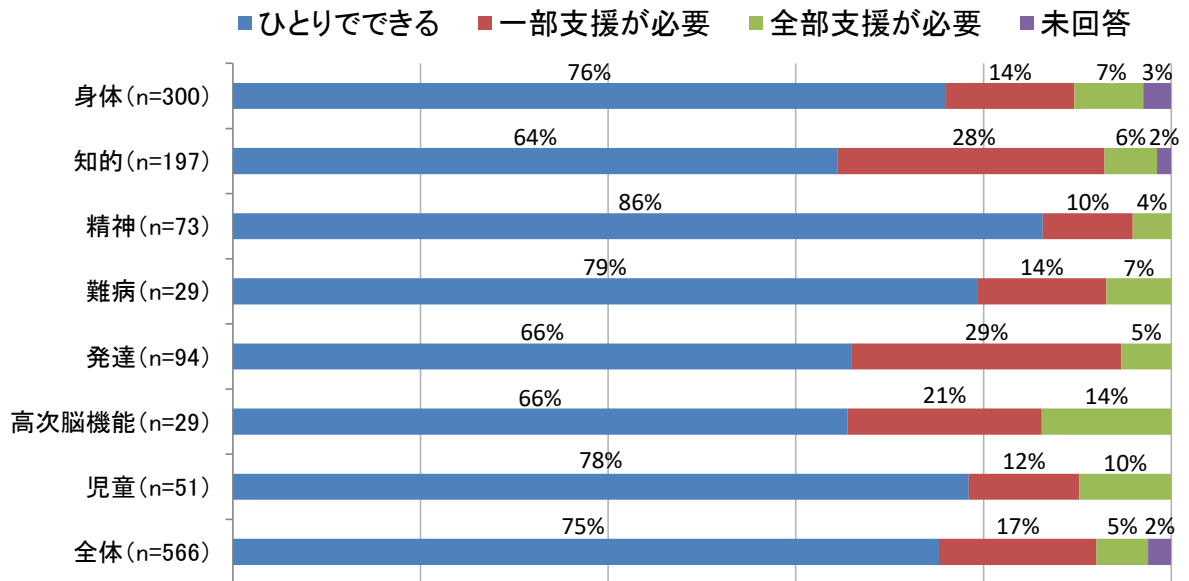
(複数回答可)

項目	身体		知的		精神		難病		発達		高次脳機能		児童		合計	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
父母・祖父母・きょうだい	59	17	82	41	33	41	11	34	58	60	10	28	37	71	290	34
配偶者(夫または妻)	120	35	7	3	5	6	8	25	1	1	7	19	0	0	148	18
子ども	57	16	3	1	5	6	4	13	1	1	4	11	0	0	74	9
家族以外の人	0	0	3	1	3	4	0	0	1	1	0	0	0	0	7	1
その他(施設の職員など)	48	14	91	45	15	19	5	16	30	31	10	28	4	8	203	24
いない(一人で暮らしている)	54	16	12	6	15	19	4	13	3	3	3	8	0	0	91	11
未回答	8	2	3	1	5	6	0	0	2	2	2	6	11	21	31	4
合計	346	100	201	100	81	100	32	100	96	100	36	100	52	100	844	100

一緒に暮らしている人について、全体では「父母・祖父母・きょうだい」が34%と最も高い割合となっています。次いで「その他(施設の職員など)」が24%と高い割合となっています。

問5 日常生活で、次のことについてどの程度支援が必要ですか。

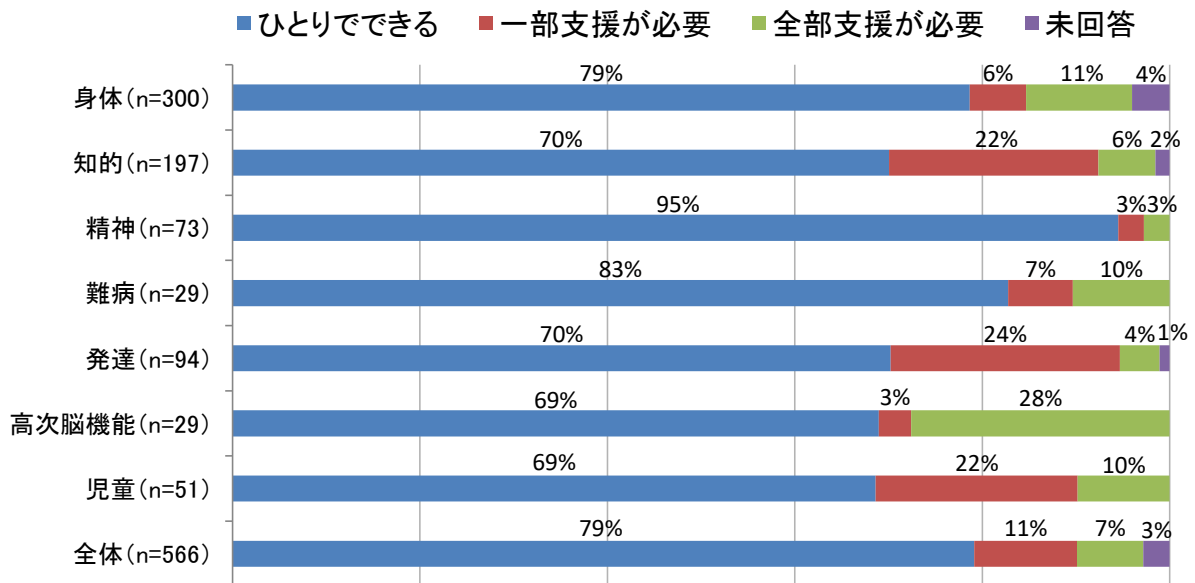
①食事



食事の支援について、全体では、「ひとりできる」が75%と最も高い割合となっています。障がい別にみると、知的、発達障がいのある人が「一部支援が必要」と回答した割合は他よりも高く、高次脳機能障がいのある人が「全部支援が必要」と回答した割合は他よりも高くなっています。

問5 日常生活で、次のことについてどの程度支援が必要ですか。

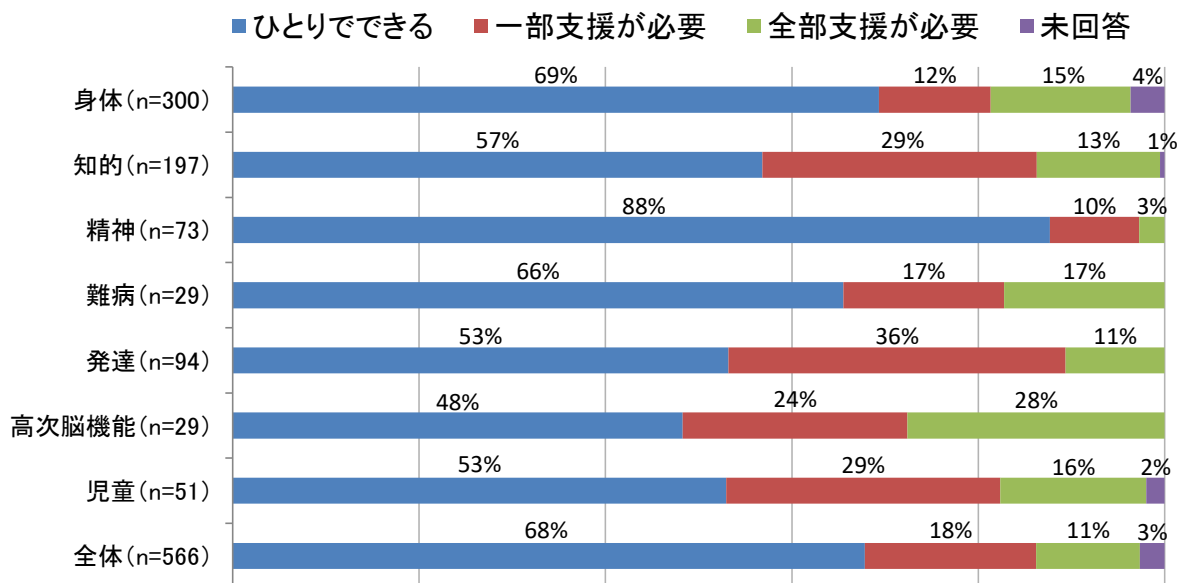
②トイレ



トイレの支援について、全体では、「ひとりできる」が79%と最も高い割合となっています。障がい別にみると、知的、発達障がいのある人が「一部支援が必要」と回答した割合は他よりも高く、高次脳機能障がいのある人が「全部支援が必要」と回答した割合は他よりも高くなっています。

問5 日常生活で、次のことについてどの程度支援が必要ですか。

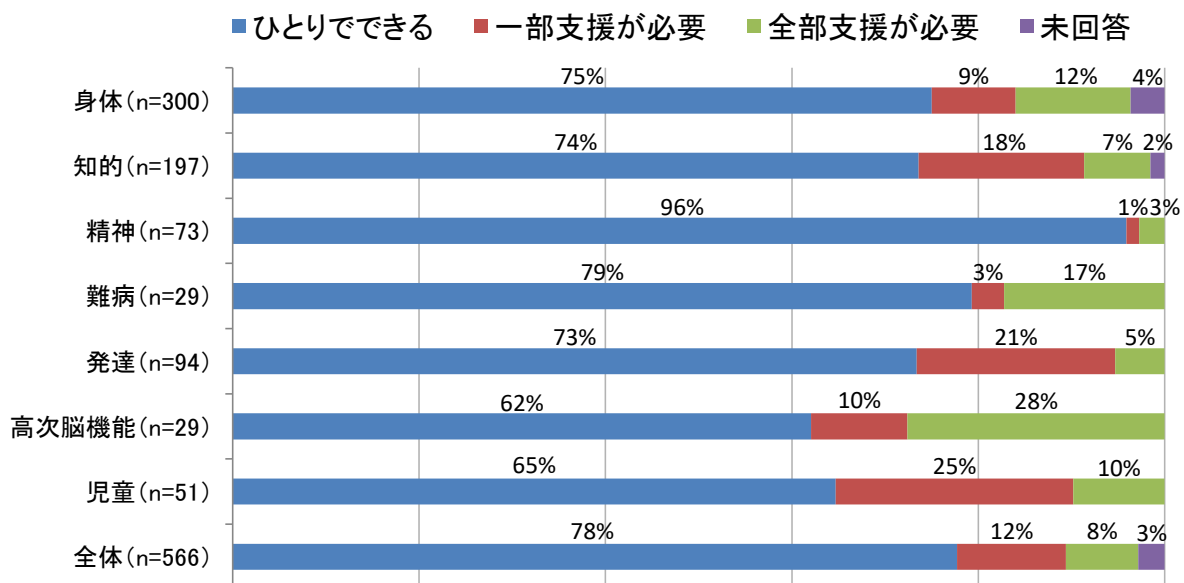
③入浴



入浴の支援について、全体では、「ひとりできる」が68%と最も高い割合となっています。障がい別にみると、発達障がいのある人が「一部支援が必要」と回答した割合は36%で他よりも高く、高次脳機能障がいのある人が「全部支援が必要」と回答した割合は28%で他よりも高くなっています。

問5 日常生活で、次のことについてどの程度支援が必要ですか。

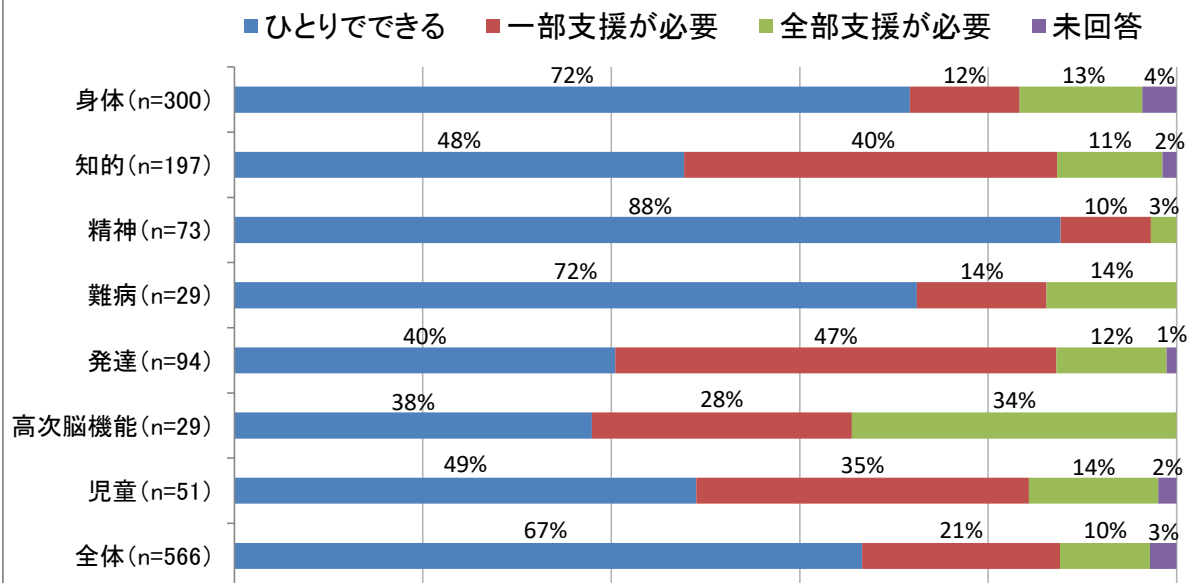
④服を着る・脱ぐ



服を着る・脱ぐの支援について、全体では、「ひとりできる」が78%と最も高い割合となっています。障がい別にみると、障がいのある児童が「一部支援が必要」と回答した割合は25%で他よりも高く、高次脳機能障がいのある人が「全部支援が必要」と回答した割合は28%で他よりも高くなっています。

問5 日常生活で、次のことについてどの程度支援が必要ですか。

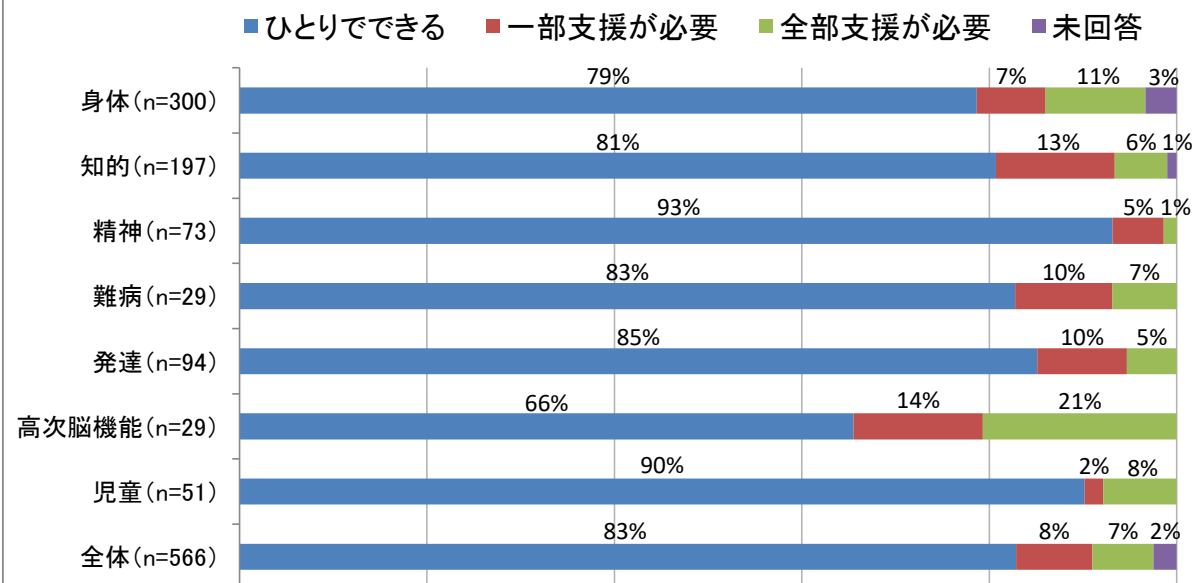
⑤身だしなみ



身だしなみの支援について、全体では、「ひとりできる」が67%と最も高い割合となっています。障がい別にみると、発達障がいのある人が「一部支援が必要」と回答した割合は47%で他よりも高く、高次脳機能障がいのある人が「全部支援が必要」と回答した割合は34%で他よりも高くなっています。

問5 日常生活で、次のことについてどの程度支援が必要ですか。

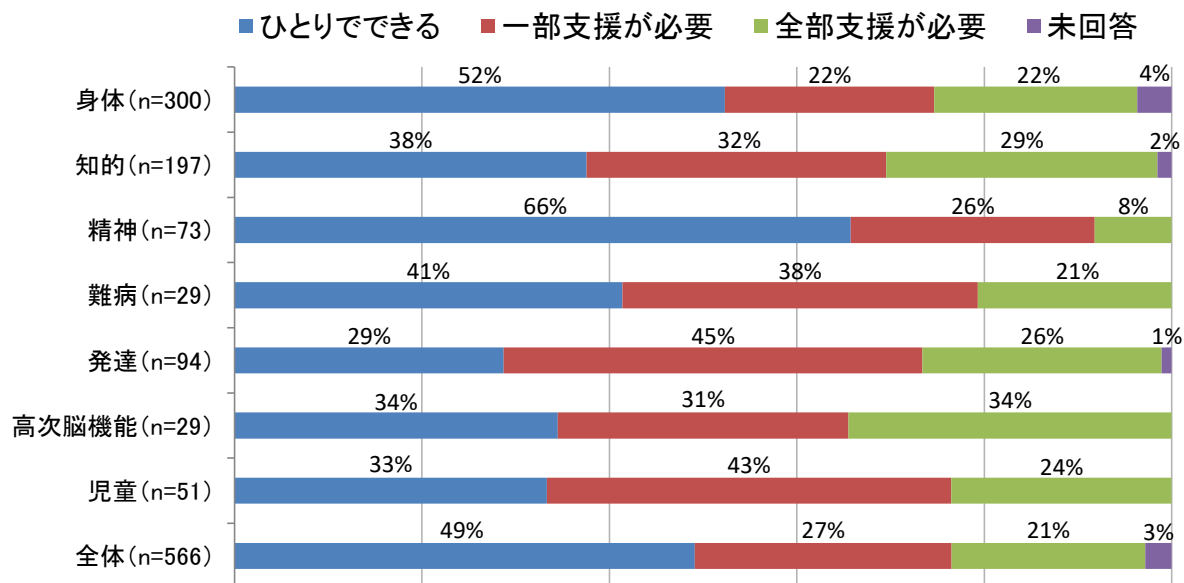
⑥家の中の移動



家の中の移動の支援について、全体では、「ひとりできる」が83%と最も高い割合となっています。障がい別にみると、高次脳機能障がいのある人が「一部支援が必要」「全部支援が必要」と回答した割合はそれぞれ他よりも高くなっています。

問5 日常生活で、次のことについてどの程度支援が必要ですか。

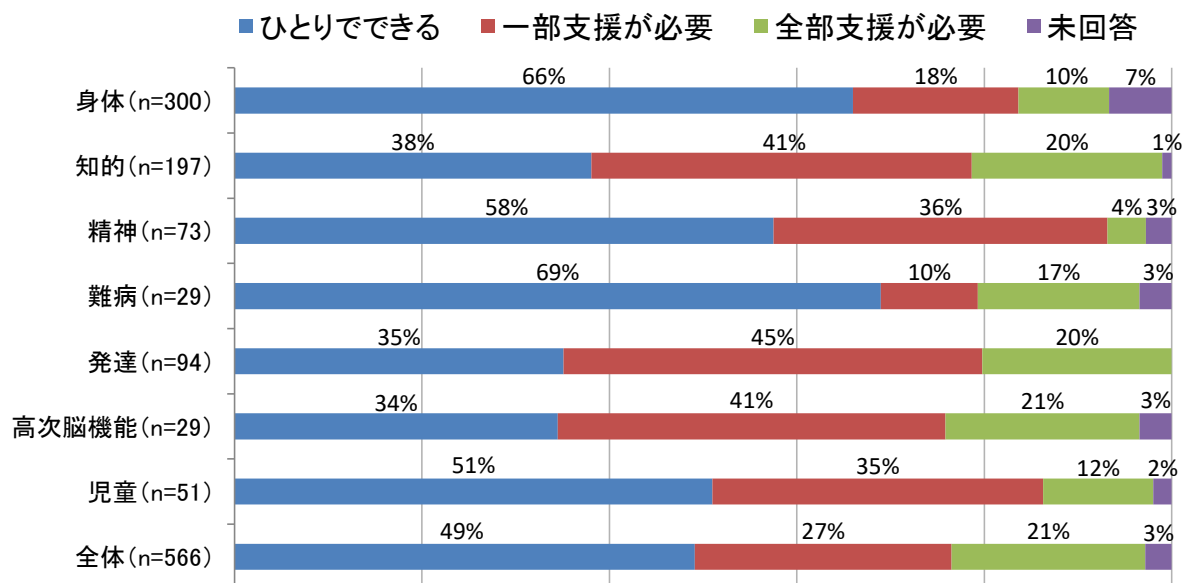
⑦外出



外出の支援について、全体では、「ひとりできる」が49%と最も高い割合となっています。障がい別にみると、身体、精神障がいのある人以外で、「一部支援が必要」「全部支援が必要」の割合の合計は5割を超える結果となっています。

問5 日常生活で、次のことについてどの程度支援が必要ですか。

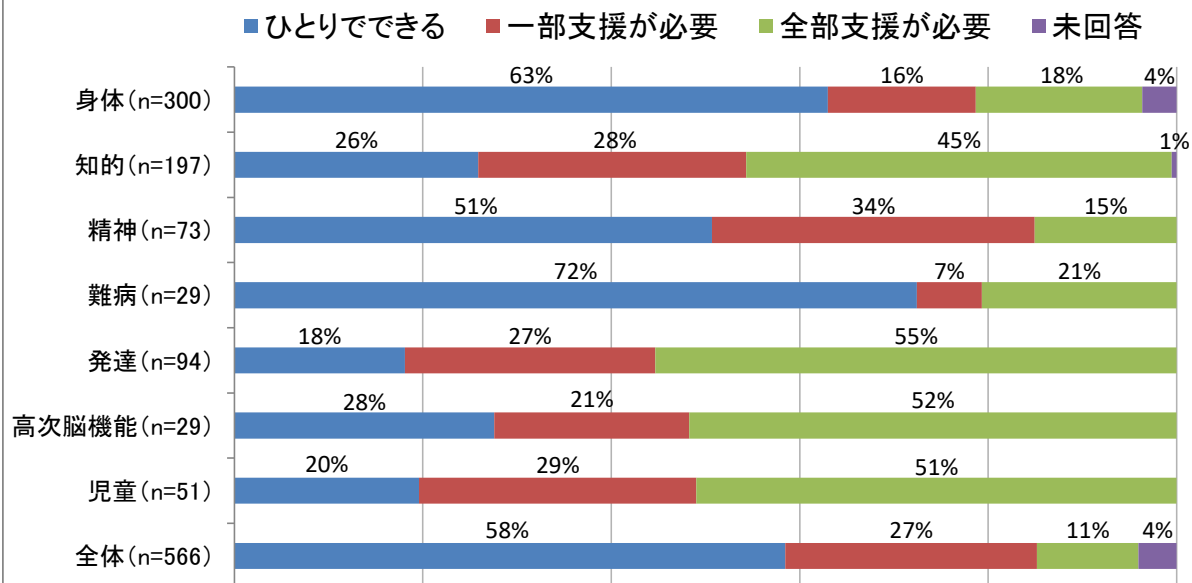
⑧家族以外の人との意思疎通



家族以外の人との意思疎通の支援について、全体では、「ひとりできる」が49%と最も高い割合となっています。障がい別にみると、「一部支援が必要」と回答した人が、知的、発達、高次脳機能障がいのある人で4割を超える結果となっています。

問5 日常生活で、次のことについてどの程度支援が必要ですか。

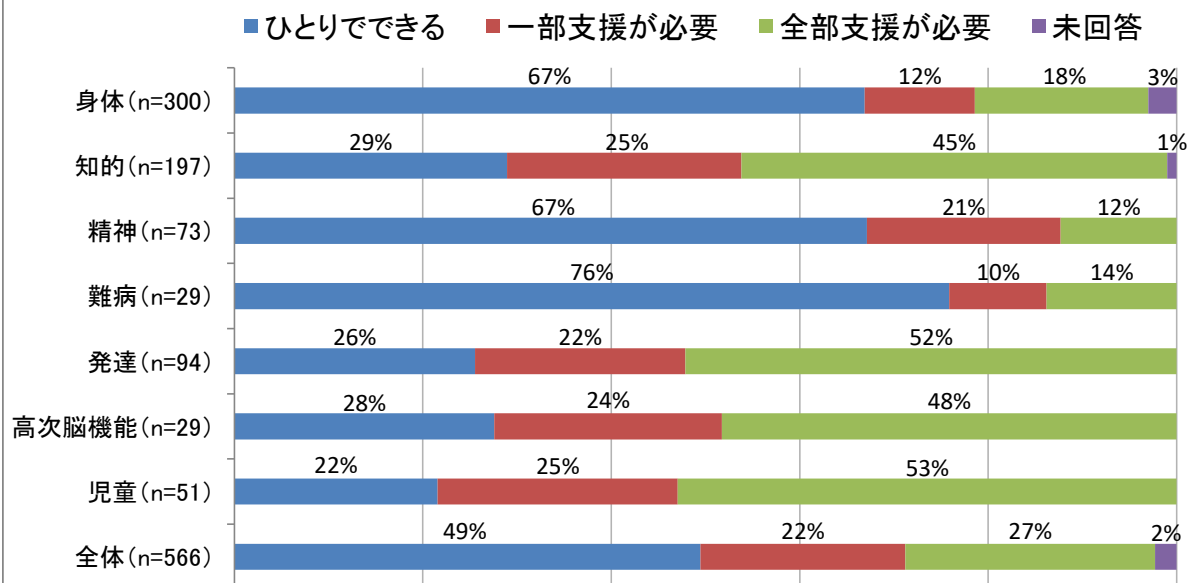
⑨お金の管理



お金の管理の支援について、全体では、「ひとりできる」が58%と最も高い割合となっています。障がい別にみると、知的、発達、高次脳機能障がいのある人及び障がいのある児童で「一部支援が必要」「全部支援が必要」と回答した人の合計が7割を超える結果となっています。

問5 日常生活で、次のことについてどの程度支援が必要ですか。

⑩薬の管理



薬の管理の支援について、全体では、「ひとりできる」が49%と最も高い割合となっています。障がい別にみると、知的、発達、高次脳機能障がいのある人及び障がいのある児童で「一部支援が必要」「全部支援が必要」と回答した人の合計が7割を超える結果となっています。

問6 あなたを支援してくれる方は主にどなたですか。

問5で「一部支援が必要」又は「全部支援が必要」と答えた方が回答

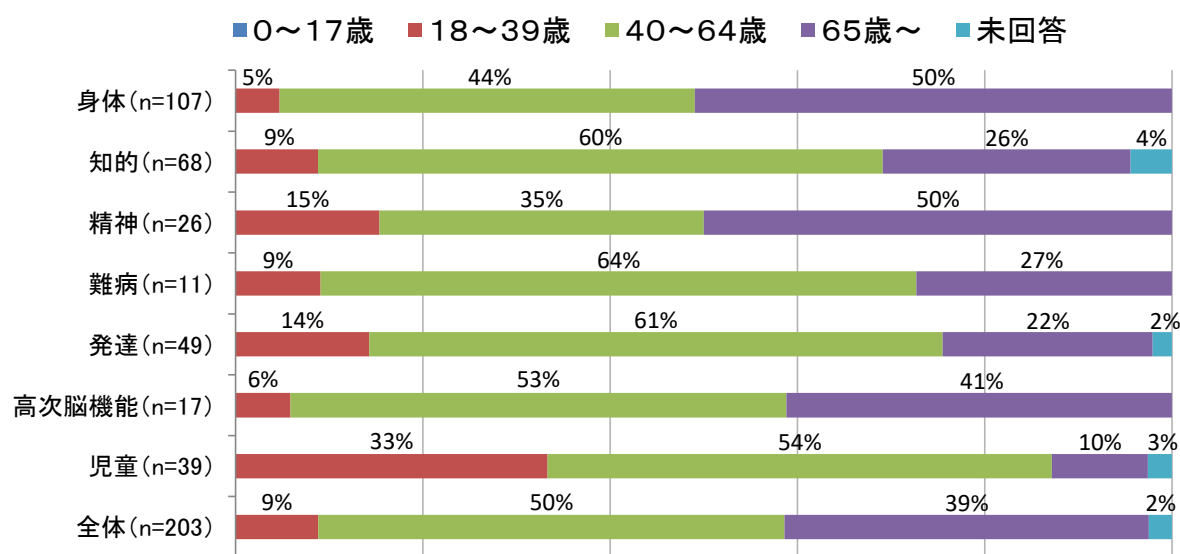
(複数回答可)

項目	身体		知的		精神		難病		発達		高次脳機能		児童		合計	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
父母・祖父母・きょうだい	35	17	64	35	22	37	7	26	48	52	9	22	37	76	222	34
配偶者(夫または妻)	49	24	3	2	6	10	2	7	1	1	9	22	3	6	73	11
子ども	43	21	1	1	2	3	5	19	0	0	6	15	1	2	58	9
ホームヘルパーや施設の職員	61	29	103	56	20	34	7	26	39	42	16	39	6	12	252	38
その他の人(ボランティア等)	11	5	8	4	5	8	3	11	3	3	1	2	1	2	32	5
未回答	8	4	5	3	4	7	3	11	1	1	0	0	1	2	22	3
合計	207	100	184	100	59	100	27	100	92	100	41	100	49	100	659	100

支援者について、全体では「ホームヘルパーや施設の職員」が38%と最も高い割合となっています。障がい別にみると、身体、知的障がいのある人は「ホームヘルパーや施設の職員」が最も高く、精神、発達障がいのある人及び障がいのある児童は「父母・祖父母・きょうだい」と回答した割合が最も高くなっています。

問7-① あなたを支援してくれる家族で特に中心となっている方の年齢をお答えください。

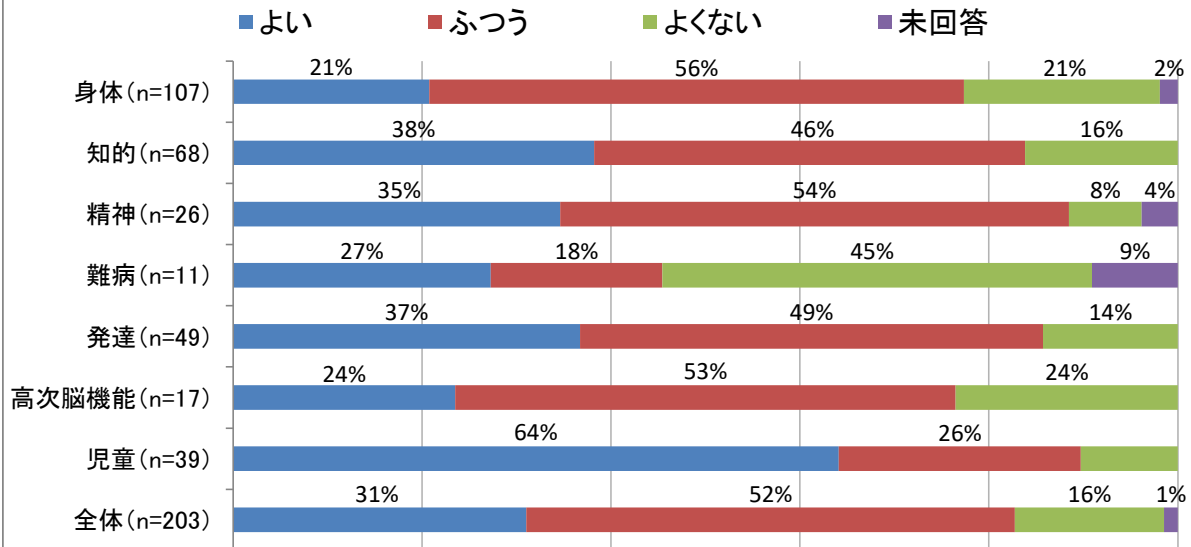
問6で「父母・祖父母・きょうだい」、「配偶者(夫または妻)」又は「子ども」と答えた方が回答



支援者の年齢について、全体では「40~64歳」が50%と最も高く、「65歳~」が39%と次いで高い割合となっています。障がい別にみると、身体、精神障がいがある人の支援者の年齢で「65歳~」が5割と高い割合となっています。

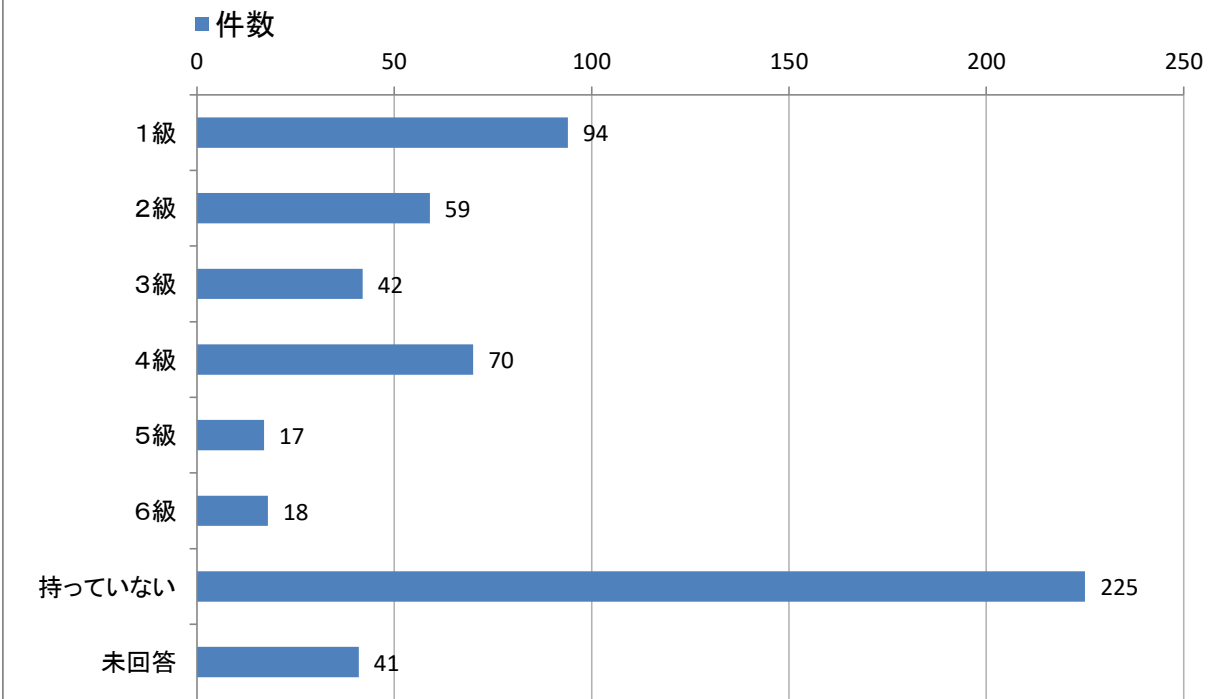
問7-② あなたを支援してくれる家族で特に中心となっている方の健康状態をお答えください。

問6で「父母・祖父母・きょうだい」、「配偶者(夫または妻)」又は「子ども」と答えた方が回答

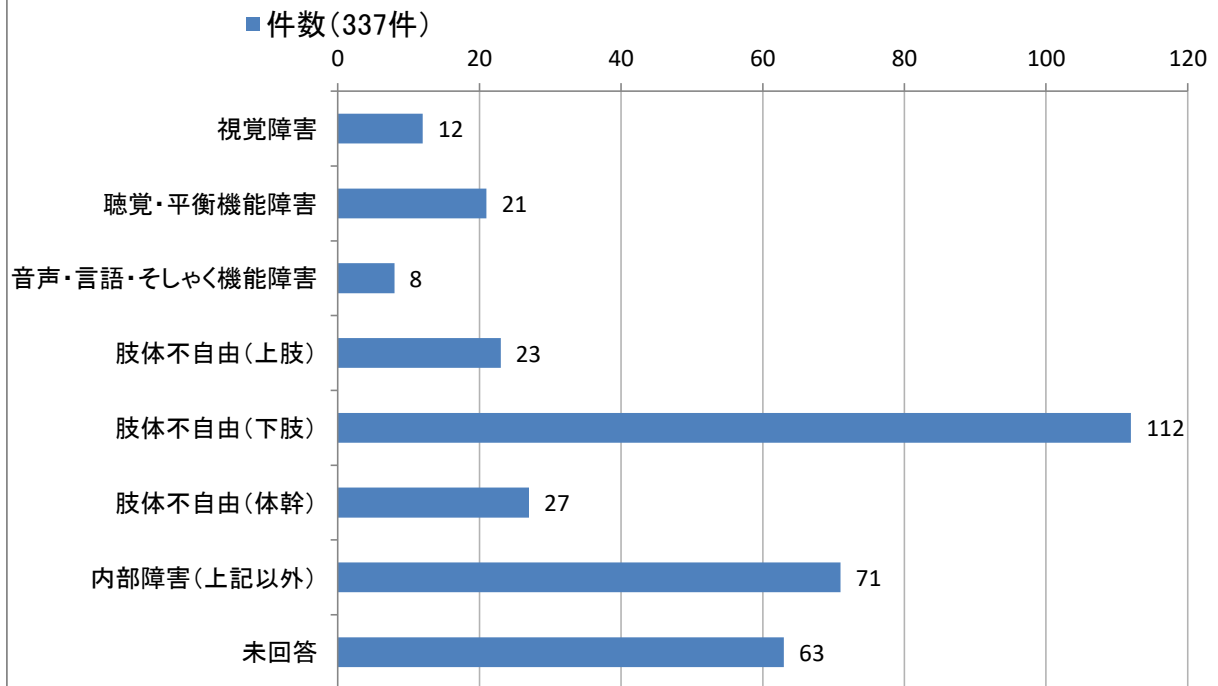


支援者の健康状態について、全体では「ふつう」が52%と最も高く、「よい」が31%と次いで高い割合となっています。障がい別にみると、難病の認定を受けている人の支援者について「よくない」と答えた割合が45%と高い割合になっています。

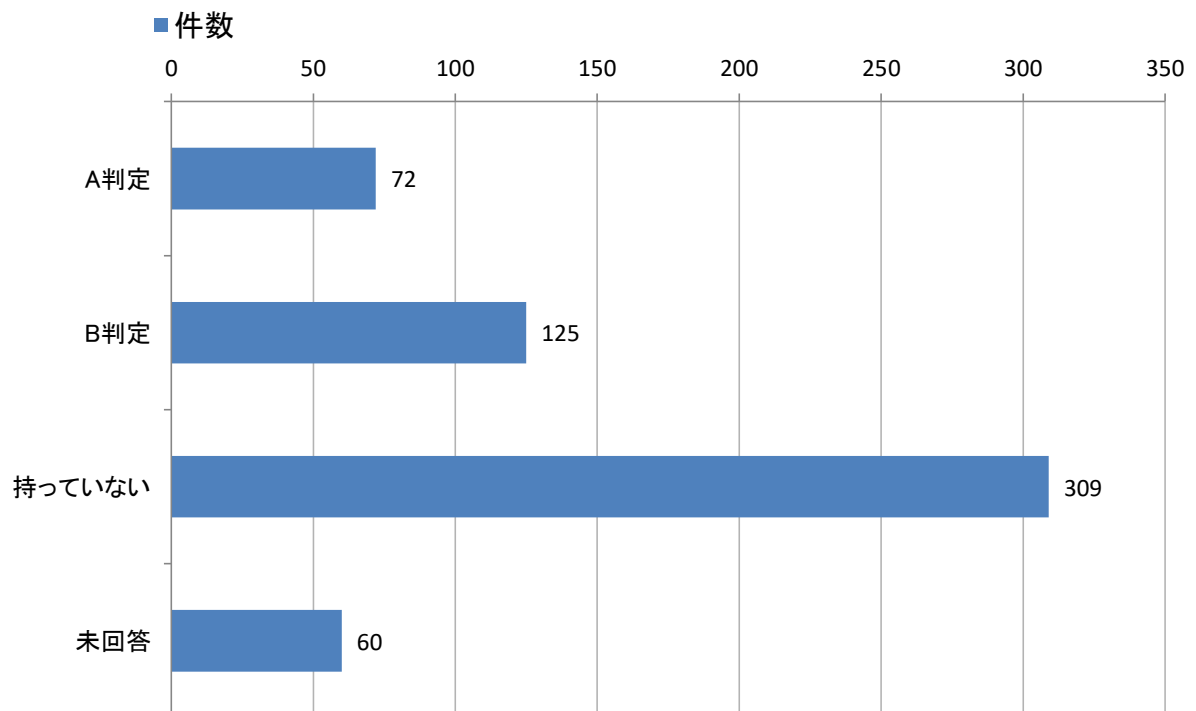
問8 あなたは身体障害者手帳をお持ちですか。



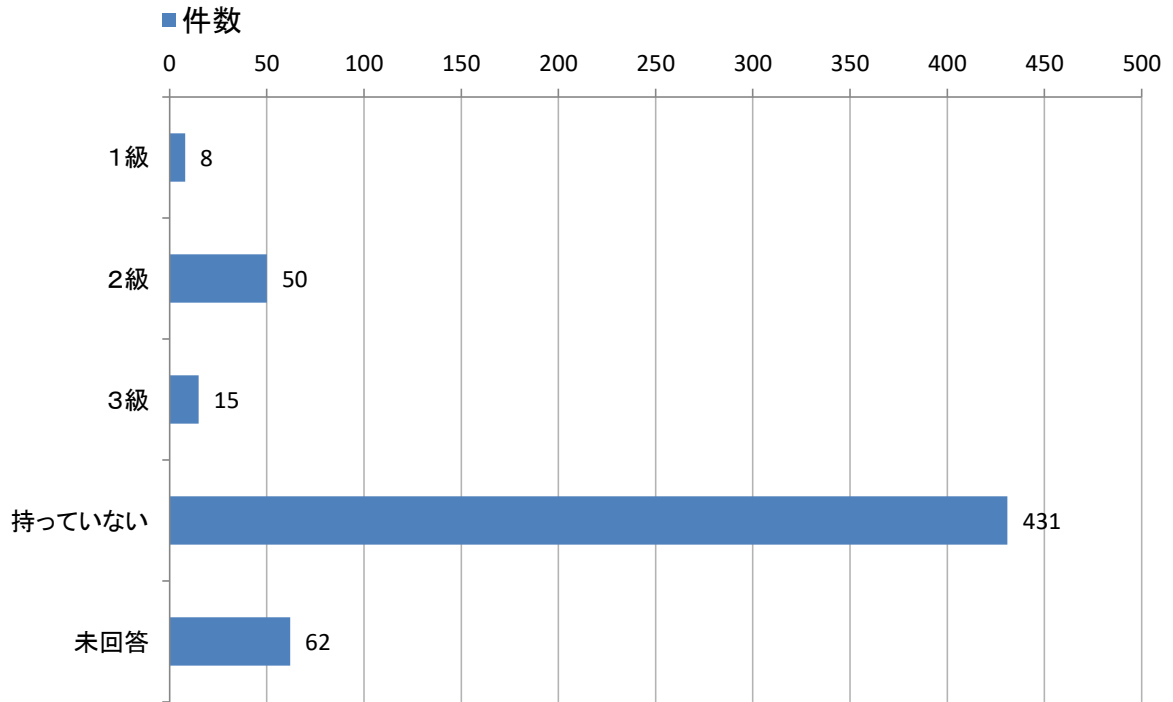
問9 身体障害者手帳をお持ちの場合、主な障害をお答えください。



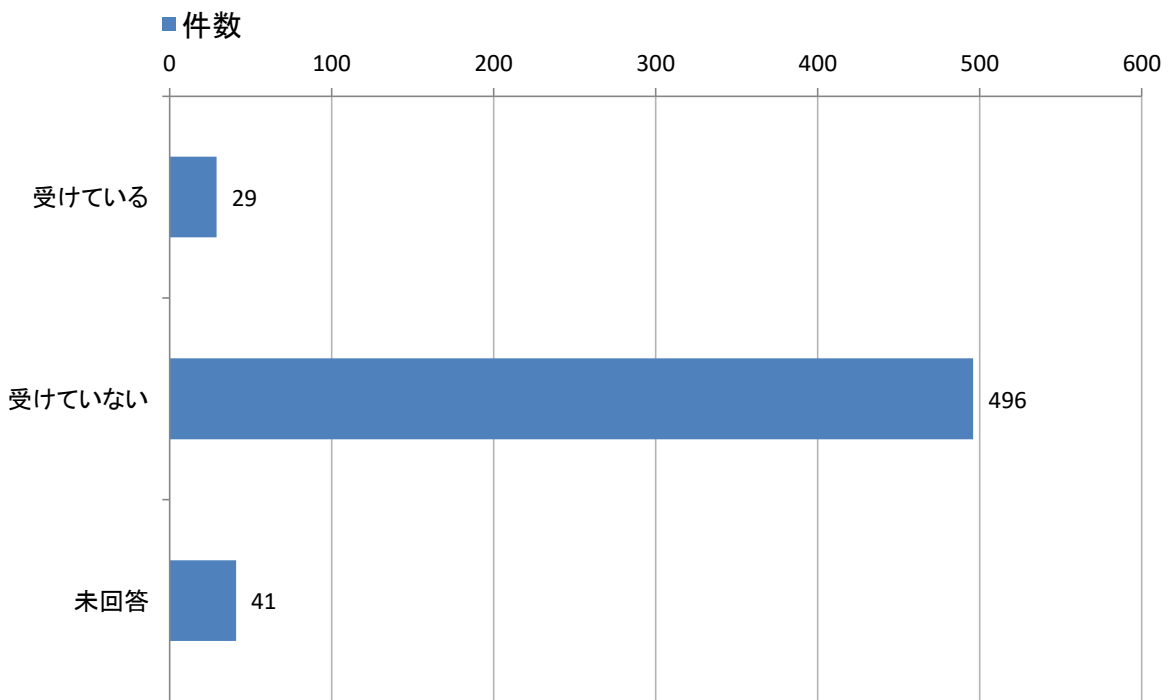
問10 あなたは療育手帳をお持ちですか。



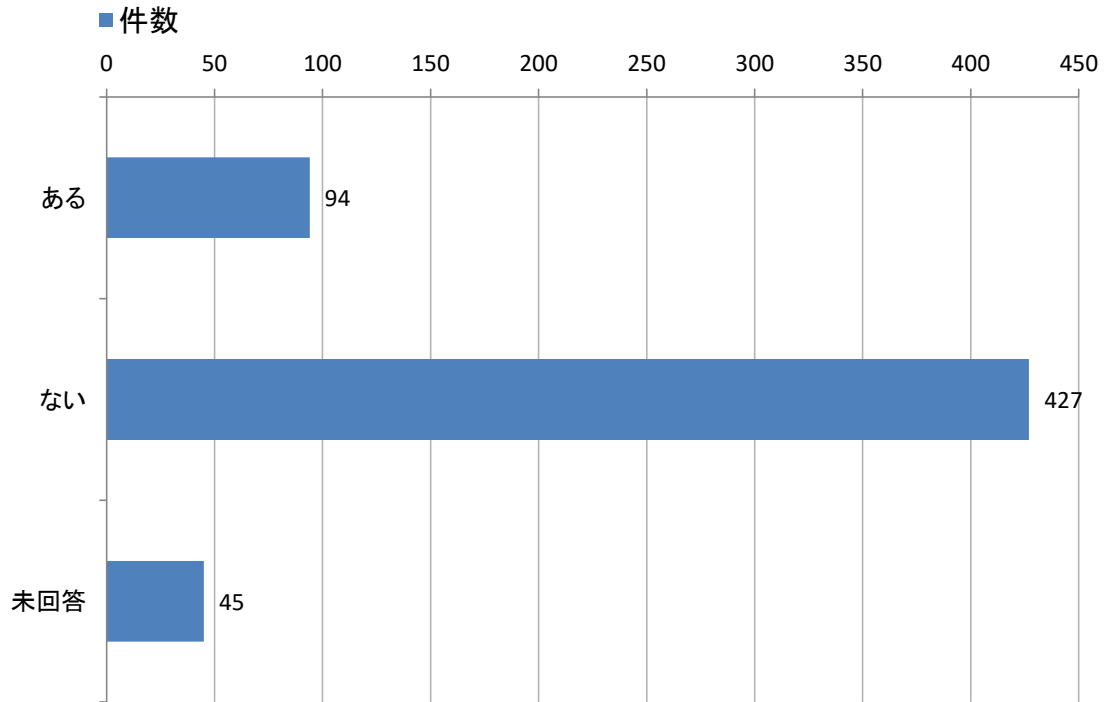
問11 あなたは精神障害者保健福祉手帳をお持ちですか。



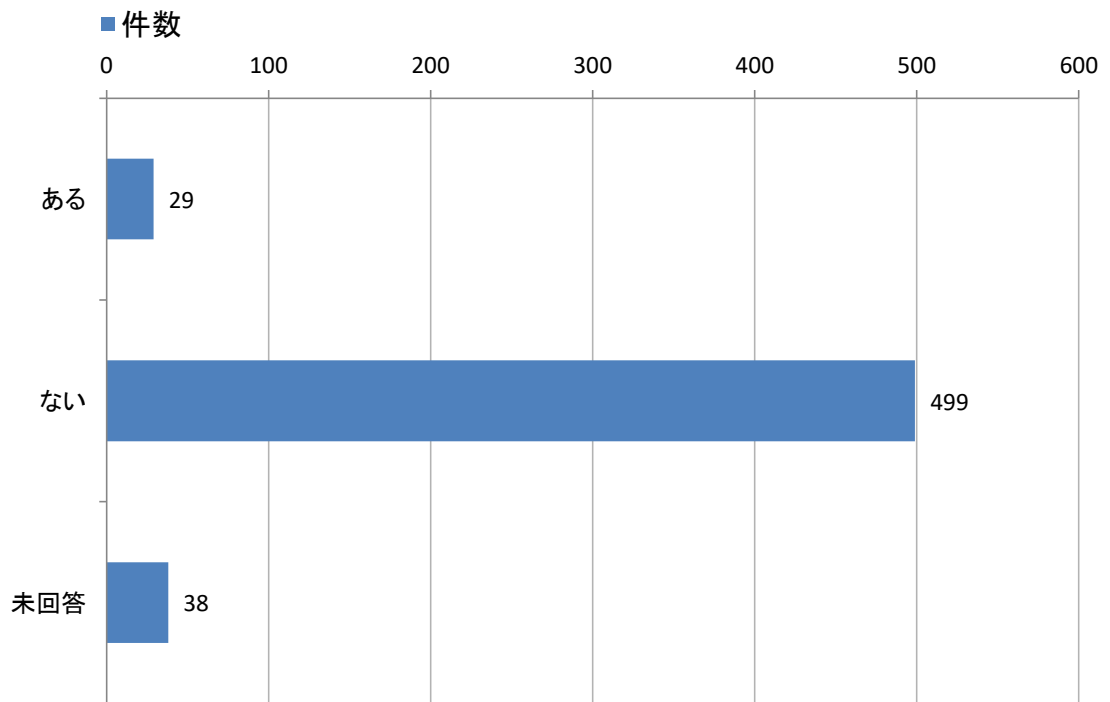
問12 あなたは指定難病の認定を受けていますか。



問13 あなたは発達障害と診断されたことがありますか。



問14 あなたは高次脳機能障害と診断されたことがありますか。



問15 あなたが現在受けている医療的ケアをお答えください。

(複数回答可)

項目	身体		知的		精神		難病		発達		高次脳機能		児童		合計	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
気管切開	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0
人工呼吸器(レスピレーター)	5	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	1
吸入	7	2	1	1	1	1	1	3	1	1	2	5	1	2	14	2
吸引	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0
胃ろう・腸ろう	5	1	2	1	0	0	2	6	1	1	1	3	1	2	12	1
鼻腔経管栄養	7	2	1	1	0	0	0	0	1	1	3	8	1	2	13	2
中心静脈栄養(IVH)	3	1	1	1	1	1	1	3	1	1	1	3	0	0	8	1
透析	10	3	0	0	0	0	2	6	0	0	1	3	0	0	13	2
カテーテル留置	16	5	0	0	0	0	3	8	0	0	2	5	0	0	21	2
ストーマ(人工肛門・人工膀胱)	17	5	1	1	0	0	3	8	1	1	0	0	0	0	22	3
服薬管理	75	22	52	26	18	24	7	19	23	24	14	36	6	11	195	23
その他	29	8	8	4	6	8	6	17	4	4	3	8	2	4	58	7
受けていない	144	42	120	60	41	54	9	25	57	59	11	28	41	77	423	50
未回答	20	6	14	7	9	12	2	6	7	7	1	3	1	2	54	6
合計	346	100	200	100	76	100	36	100	96	100	39	100	53	100	846	100

現在受けている医療的ケアについて、全体では「服薬管理」が23%と高い割合となっています。障がい別にみても、「服薬管理」がそれぞれの障がいで高い割合となっています。

問16 あなたは現在どのように暮らしていますか。

項目	身体		知的		精神		難病		発達		高次脳機能		児童		合計	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
一人で暮らしている	53	18	13	7	16	22	5	17	2	2	4	14	1	2	94	12
家族と暮らしている	192	64	90	46	38	52	19	66	61	65	14	48	46	90	460	60
グループホームで暮らしている	7	2	36	18	10	14	0	0	9	10	2	7	2	4	66	9
福祉施設(障害者支援施設、高齢者支援施設)で暮らしている	33	11	53	27	4	5	3	10	20	21	7	24	1	2	121	16
病院に入院している	13	4	3	2	5	7	2	7	2	2	2	7	1	2	28	4
その他	1	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0
未回答	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
合計	300	100	197	100	73	100	29	100	94	100	29	100	51	100	773	100

現在の暮らしについて、全体では「家族と暮らしている」が60%と最も高い割合となっています。障がい別にみると、知的障がいのある人の45%がグループホーム又は福祉施設で暮らしていると回答しています。

問17 あなたは今後、どのような暮らしをしたいと思いますか。

項目	身体		知的		精神		難病		発達		高次脳機能		児童		合計	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
今のまま暮らしたい	213	71	103	52	40	55	18	62	47	50	13	45	25	49	459	59
グループホームなどを利用したい	15	5	25	13	7	10	2	7	11	12	2	7	2	4	64	8
家族と一緒に暮らしたい	47	16	45	23	14	19	5	17	21	22	8	28	16	31	156	20
一般の住宅で一人暮らしをしたい	8	3	13	7	6	8	3	10	5	5	0	0	4	8	39	5
その他	6	2	5	3	4	5	1	3	7	7	3	10	2	4	28	4
未回答	11	4	6	3	2	3	0	0	3	3	3	10	2	4	27	3
合計	300	100	197	100	73	100	29	100	94	100	29	100	51	100	773	100

今後、どのような暮らしをしたいかについて、全体では「今のまま暮らしたい」が59%と最も高い割合となっています。次いで、「家族と一緒に暮らしたい」が20%と高い割合となっています。障がい別にみても、「今のまま暮らしたい」「家族と一緒に暮らしたい」と回答した割合が高くなっています。

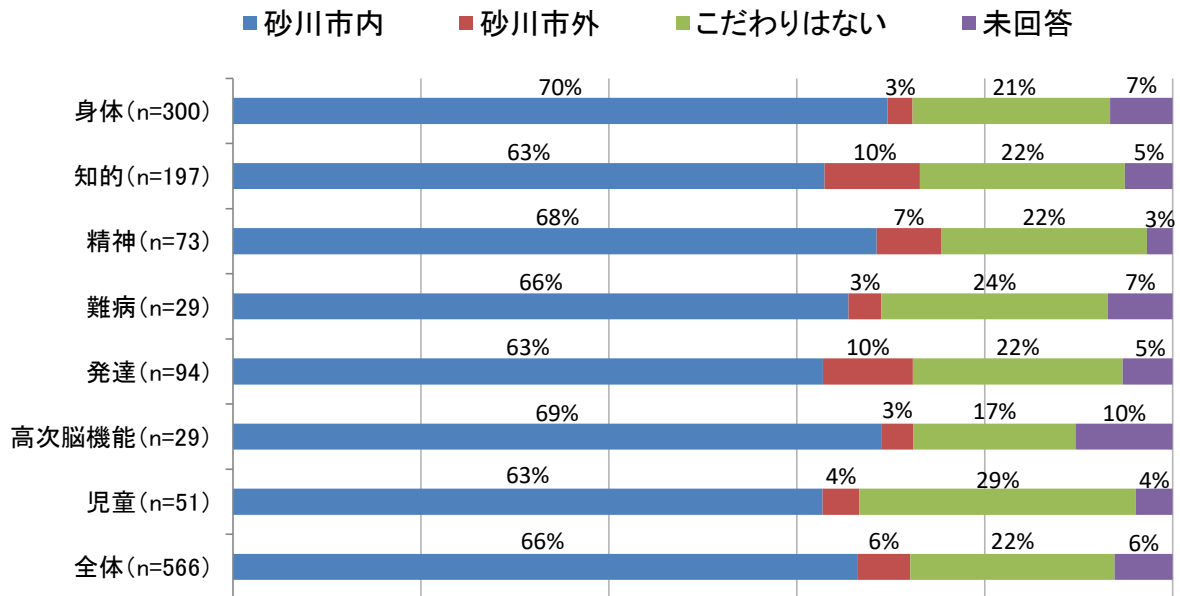
問18 あなたは問17で答えた暮らしをするために、どのようなことがあればよいと思いますか。(複数回答可)

項目	身体		知的		精神		難病		発達		高次脳機能		児童		合計	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
自宅で医療ケアが適切に受けられる(訪問看護)	73	12	24	5	14	6	8	12	12	4	7	10	5	4	143	8
いろいろな病気を診療してくれる病院(総合病院)	106	18	66	13	27	12	12	17	33	11	8	12	14	11	266	14
自宅で必要なサービスが適切に受けられる(ホームヘルパー)	84	14	38	8	20	9	9	13	18	6	5	7	4	3	178	10
家賃が安い住居(公営住宅やグループホームなど)	34	6	43	9	24	10	2	3	23	8	5	7	10	8	141	8
働いて収入が得られる場所(会社や施設など)	26	4	46	9	31	13	5	7	30	10	4	6	14	11	156	8
働くための訓練ができる場所	20	3	37	7	16	7	4	6	22	8	8	12	10	8	117	6
お金の支援	47	8	65	13	31	13	10	14	36	13	10	14	14	11	213	11
相談相手や支援者	37	6	68	14	28	12	4	6	41	14	6	9	13	10	197	11
手話ができる人(手話通訳士)	5	1	0	0	0	0	1	1	0	0	1	1	0	0	7	0
バリアフリー	44	8	22	4	11	5	6	9	14	5	5	7	8	6	110	6
まわりの住民の障がいへの理解(心のバリアフリー)	32	5	49	10	20	9	3	4	36	13	5	7	16	13	161	9
その他	13	2	13	3	5	2	1	1	7	2	1	1	3	2	43	2
未回答	65	11	31	6	5	2	4	6	16	6	4	6	13	10	138	7
合計	586	100	502	100	232	100	69	100	288	100	69	100	124	100	1,870	100

暮らしへの支援について、全体では「いろいろな病気を診療してくれる病院(総合病院)」が14%と最も高い割合となっていて、次いで、「お金の支援」「相談相手や支援者」が11%と高い割合となっています。

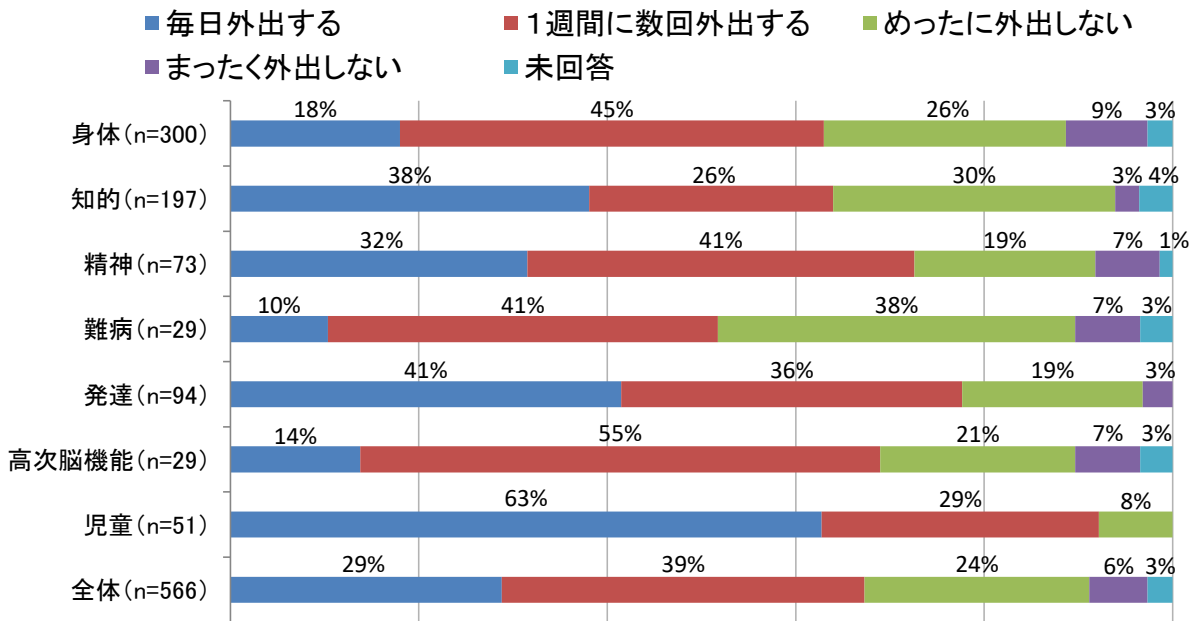
※その他回答:「地元の学校の理解と支援」、「一般会社への就職が、もう少し身近になってほしい」等

問19 あなたはどの地域で生活したいと思いますか。



どの地域で生活したいかについて、全体では「砂川市内」が66%と最も高い割合となっています。障がい別にみても「砂川市内」と回答した割合がそれぞれで6割を占めています。「砂川市外」と回答した割合は、いずれも10%以下となっています。

問20 あなたは、1週間にどのくらい外出しますか。



1週間にどのくらい外出するかについて、全体では「1週間に数回外出する」が39%と最も高い割合となっています。障がい別にみると、難病の認定を受けている人が「毎日外出する」と回答した割合は10%と他より少なく、「めったに外出しない」と回答した割合は38%と他より多くなっています。

問21 あなたがた外出する際の主な同伴者はどなたですか。

問20で「まったく外出しない」以外と答えた方が回答

項目	身体		知的		精神		難病		発達		高次脳機能		児童		合計	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
父母・祖父母・きょうだい	26	9	52	27	12	18	4	15	40	44	4	15	29	57	167	23
配偶者(夫または妻)	64	23	4	2	6	9	8	30	1	1	8	30	3	6	94	13
子ども	27	10	2	1	1	1	2	7	1	1	1	4	0	0	34	5
ホームヘルパーや施設の職員	30	11	69	36	6	9	1	4	24	26	8	30	2	4	140	19
その他の人(ボランティア等)	4	1	1	1	0	0	1	4	1	1	0	0	1	2	8	1
一人で外出する	98	36	49	26	36	53	9	33	18	20	6	22	11	22	227	31
未回答	25	9	15	8	7	10	2	7	6	7	0	0	5	10	60	8
合計	274	100	192	100	68	100	27	100	91	100	27	100	51	100	730	100

外出時の同伴者について、全体では「一人で外出する」が31%と最も高い割合となっています。障がい別にみると、精神障がいのある人は、「一人で外出する」が53%と高い割合となっていて、知的、高次脳機能障がいのある人は「ホームヘルパーや施設の職員」の割合が高くなっています。

問22 あなたは、どのような目的で外出することが多いですか。

問20で「まったく外出しない」以外と答えた方が回答

(複数回答可)

項目	身体		知的		精神		難病		発達		高次脳機能		児童		合計	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
通勤・通学・通所	53	8	95	21	33	16	5	8	52	22	7	12	39	30	284	16
訓練やリハビリに行く	27	4	4	1	8	4	4	6	9	4	5	8	9	7	66	4
病院への受診	190	29	90	20	56	27	22	34	39	17	18	31	16	12	431	24
買い物に行く	178	27	142	31	56	27	16	25	64	27	15	25	30	23	501	27
友人・知人に会う	52	8	16	3	16	8	5	8	6	3	4	7	7	5	106	6
趣味やスポーツをする	37	6	18	4	12	6	1	2	9	4	1	2	7	5	85	5
グループ活動に参加する	13	2	6	1	4	2	0	0	8	3	0	0	4	3	35	2
散歩に行く	56	8	58	13	18	9	6	9	34	14	6	10	15	11	193	11
その他	18	3	14	3	1	0	3	5	8	3	1	2	3	2	48	3
未回答	38	6	15	3	6	3	3	5	7	3	2	3	2	2	73	4
合計	662	100	458	100	210	100	65	100	236	100	59	100	132	100	1,822	100

外出の目的について、全体では「買い物に行く」が27%と最も高く、次に「病院への受診」が24%と高い割合になっています。障がい別にみると、身体、精神、難病、高次脳機能障がいがある人で「病院への受診」の割合が高く、知的、発達障がいのある人及び障がいのある児童では、「通勤・通学・通所」が高い割合を占めている。

問23 外出する時に困ることは何ですか。

問20で「まったく外出しない」以外と答えた方が回答

(複数回答可)

項目	身体		知的		精神		難病		発達		高次脳機能		児童		合計	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
公共交通機関が少ない(ない)	51	10	52	14	26	18	7	9	25	13	7	12	10	12	178	12
列車やバスの乗り降りが困難	57	11	24	6	6	4	12	15	15	8	7	12	6	7	127	9
道路や駅に階段や段差が多い	84	17	28	8	6	4	14	18	10	5	5	8	7	8	154	11
切符の買い方や乗り換えの方法がわかりにくい	13	3	35	9	7	5	0	0	24	13	1	2	7	8	87	6
外出先の建物の設備が不便(通路、トイレ、エレベーターなど)	36	7	21	6	1	1	6	8	9	5	2	3	5	6	80	6
介助者がいない	16	3	20	5	2	1	6	8	11	6	5	8	0	0	60	4
外出にお金がかかる	41	8	37	10	28	19	7	9	15	8	7	12	11	13	146	10
まわりの人の目が気になる	20	4	25	7	19	13	4	5	13	7	2	3	5	6	88	6
発作など突然の身体の変化が心配	34	7	18	5	8	5	8	10	10	5	6	10	3	4	87	6
困ったときにどうすればいいのかが心配	35	7	59	16	28	19	9	11	34	18	10	17	18	22	193	13
その他	13	3	10	3	3	2	0	0	6	3	2	3	3	4	37	3
未回答	107	21	43	12	13	9	6	8	16	9	5	8	8	10	198	14
合計	507	100	372	100	147	100	79	100	188	100	59	100	83	100	1,435	100

外出時に困ることについて、全体では「困ったときにどうすればいいのかが心配」が13%と最も高く、次に「公共交通機関が少ない(ない)」が12%と高い割合になっています。障がい別にみると、知的、精神、発達、高次脳機能障がいがある人及び障がいのある児童は「困ったときにどうすればいいのかが心配」と回答した割合が高いのに対して、身体障がいのある人及び難病の認定を受けている人は「道路や駅に階段や段差が多い」と回答した割合が高くなっています。

※その他回答:「支援員の同行がないと外出できない」、「家からバス停が遠い」、「決まった道を通らないとパニックになる」、「失語症で言葉がでないので困っている。」、「滝川市に通いにくい」等

問24 あなたは、平日の日中を主にどのように過ごしていますか。

項目	身体		知的		精神		難病		発達		高次脳機能		児童		合計	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
会社勤めや、自営業、家業などで収入を得て仕事をしている	39	13	18	9	7	10	3	10	7	7	2	7	1	2	77	10
ボランティアなど、収入を得ない活動をしている	3	1	1	1	1	1	0	0	0	0	1	3	0	0	6	1
専業主婦(主夫)をしている	34	11	3	2	4	5	3	10	1	1	0	0	2	4	47	6
福祉施設、作業所などに通っている(就労継続支援A型も含む)	22	7	73	37	26	36	2	7	30	32	4	14	4	8	161	21
病院などのデイケアに通っている	7	2	1	1	2	3	0	0	1	1	1	3	1	2	13	2
リハビリを受けている	8	3	0	0	0	0	1	3	0	0	2	7	0	0	11	1
自宅で過ごしている	134	45	22	11	21	29	16	55	8	9	6	21	3	6	210	27
入所している施設や病院などで過ごしている	39	13	52	26	9	12	4	14	20	21	9	31	4	8	137	18
大学、専門学校、職業訓練校などに通っている	0	0	1	1	0	0	0	0	1	1	0	0	1	2	3	0
特別支援学校(小中高等部)に通っている	2	1	5	3	0	0	0	0	7	7	0	0	6	12	20	3
一般の高校、小中学校に通っている	2	1	10	5	0	0	0	0	12	13	1	3	16	31	41	5
幼稚園、保育所、障害児通所施設などに通っている	0	0	3	2	1	1	0	0	5	5	0	0	12	24	21	3
その他	2	1	3	2	1	1	0	0	1	1	1	3	0	0	8	1
未回答	8	3	5	3	1	1	0	0	1	1	2	7	1	2	18	2
合計	300	100	197	100	73	100	29	100	94	100	29	100	51	100	773	100

平日の日中の過ごし方について、全体では「自宅で過ごしている」が27%と最も高い割合になっています。次いで、「福祉施設、作業所などに通っている(就労継続支援A型も含む)」が21%、「入所している施設や病院などで過ごしている」が18%となっています。障がい別にみると、身体障がいのある人、難病の認定を受けている人は「自宅で過ごしている」と回答した割合が5割近くと多くなっています。知的、精神、発達障がいのある人は「福祉施設、作業所などに通っている(就労継続支援A型も含む)」と回答した割合が高くなっています。

※その他回答:「デイサービスやショートステイ」等

問25 どのような勤務形態で働いていますか。

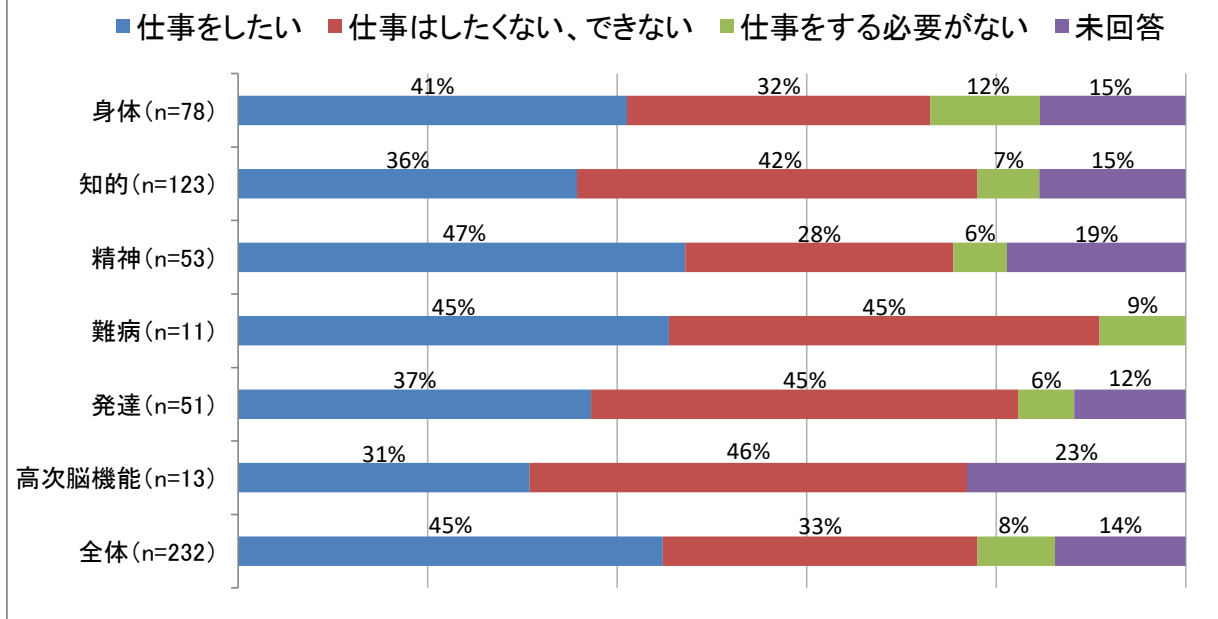
問24で「会社勤めや、自営業、家業などで収入を得て仕事をしている」と答えた方が回答

項目	身体		知的		精神		難病		発達		高次脳機能		児童		合計	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
正職員で他の職員と勤務条件などに違いはない	21	54	3	17	1	14	1	33	1	14	0	0	0	0	27	35
正職員で短時間勤務などの障がい者への配慮がある	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
パート・アルバイトなど	8	21	10	56	6	86	1	33	5	71	0	0	1	100	31	40
自営業、農林水産業	8	21	1	6	0	0	1	33	1	14	2	100	0	0	13	17
その他	1	3	3	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	5
未回答	0	0	1	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
合計	39	100	18	100	7	100	3	100	7	100	2	100	1	100	77	100

勤務形態について、全体では「パート・アルバイトなど」が40%と最も高い割合となっています。障がい別にみると、身体障がいのある人は、「正職員で他の職員と勤務条件などに違いはない」が54%と高い割合となっていて、その他の障がいでは「パート・アルバイトなど」の割合が高くなっています。

問26 あなたは今後、収入を得る仕事をしたいと思いますか。

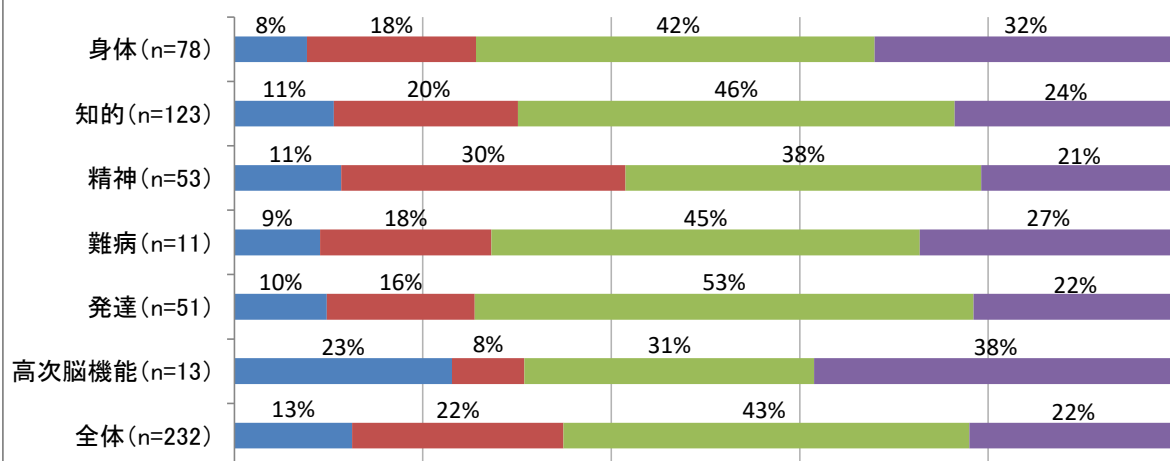
問24で「会社勤めや、自営業、家業などで収入を得て仕事をしている」以外と答えた18～64歳の方が回答



収入を得る仕事がしたいかについて、全体では「仕事をしたい」が45%と最も高い割合となっています。障がい別にみると、精神障がいのある人は、「仕事をしたい」と回答した割合が47%と他よりも高い割合となっています。

問27 収入を得る仕事をするために、職業訓練などを受けたいと思いますか
問24で「会社勤めや、自営業、家業などで収入を得て仕事をしている」以外と答えた18～64歳の方が回答

- すでに職業訓練を受けている
- 職業訓練を受けたい
- 職業訓練を受けたくない、受ける必要はない
- 未回答



職業訓練などを受けたいかについて、「すでに職業訓練を受けている」又は「職業訓練を受けたい」と回答した割合が全体の35%であり、「職業訓練を受けたくない、受ける必要はない」は43%となっています。

問28 あなたは、障がい者の就労支援として、
どのようなことが必要だと思いますか。 (複数回答可)

項目	身体		知的		精神		難病		発達		高次脳機能		児童		合計	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
通勤手段の確保	77	11	64	13	37	14	10	12	31	9	5	7	18	11	242	11
職場や通勤途中におけるバリアフリーなどの配慮	55	8	20	4	16	6	9	11	18	5	3	4	7	4	128	6
短時間勤務や勤務日数などの配慮	70	10	51	10	41	15	11	13	41	12	9	13	22	13	245	12
在宅勤務の拡充	48	7	20	4	25	9	3	4	20	6	2	3	10	6	128	6
職場の上司や同僚に障がいの理解があること	96	14	82	16	43	16	12	15	54	16	10	14	30	18	327	15
職場で介助や援助などが受けられること	54	8	60	12	25	9	6	7	43	13	11	15	17	10	216	10
就労後のフォローなど職場と支援機関の連携	40	6	49	10	29	11	9	11	39	12	9	13	18	11	193	9
企業ニーズに合った就労訓練	32	5	31	6	16	6	7	9	26	8	5	7	12	7	129	6
仕事についての職場外での相談対応、支援	46	7	59	12	24	9	5	6	39	12	4	6	17	10	194	9
その他	11	2	10	2	2	1	1	1	5	1	1	1	4	2	34	2
未回答	146	22	56	11	15	5	9	11	21	6	12	17	15	9	274	13
合計	675	100	502	100	273	100	82	100	337	100	71	100	170	100	2,110	100

就労支援として必要なことについて、全体では「職場の上司や同僚に障がいの理解があること」が15%と最も高い割合となっています。障がい別にみると、高次脳機能障がいのある人は、「職場で介助や援助などが受けられること」が最も高い割合を占めています。

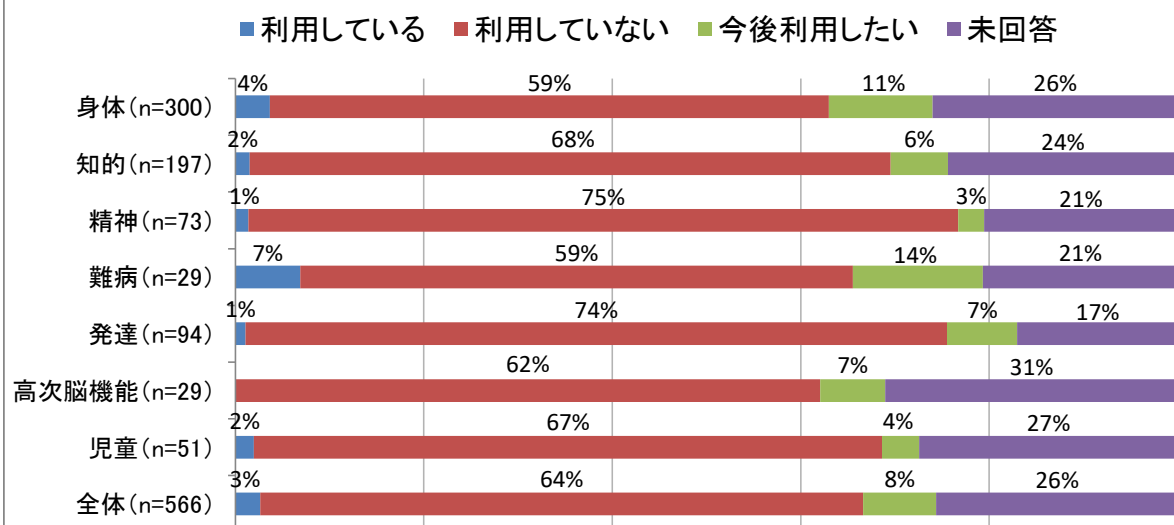
問29 あなたは、障害支援区分の認定を受けていますか。

項目	身体		知的		精神		難病		発達		高次脳機能		児童		合計	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
区分1	4	1	2	1	1	1	0	0	2	2	0	0	2	6	11	1
区分2	3	1	17	9	2	3	0	0	5	5	2	7	3	8	32	4
区分3	9	3	11	6	0	0	3	10	2	2	1	3	0	0	26	3
区分4	9	3	22	11	2	3	0	0	13	14	1	3	0	0	47	6
区分5	8	3	28	14	1	1	1	3	10	11	1	3	1	3	50	7
区分6	13	4	16	8	0	0	0	0	7	7	2	7	1	3	39	5
非該当	4	1	3	2	3	4	1	3	1	1	1	3	0	0	13	2
受けていない	187	62	56	28	39	53	17	59	38	40	8	28	29	81	374	49
未回答	63	21	42	21	25	34	7	24	16	17	13	45	0	0	166	22
合計	300	100	197	100	73	100	29	100	94	100	29	100	36	100	758	100

障害支援区分の認定について、全体では「区分5」が7%と最も高い割合となっています。障がい別にみると、知的障がいのある人は、「区分5」又は「区分6」と回答した割合が他よりも高くなっています。

問30 あなたは次のサービスを利用していますか。 また、今後利用したいと思いますか。

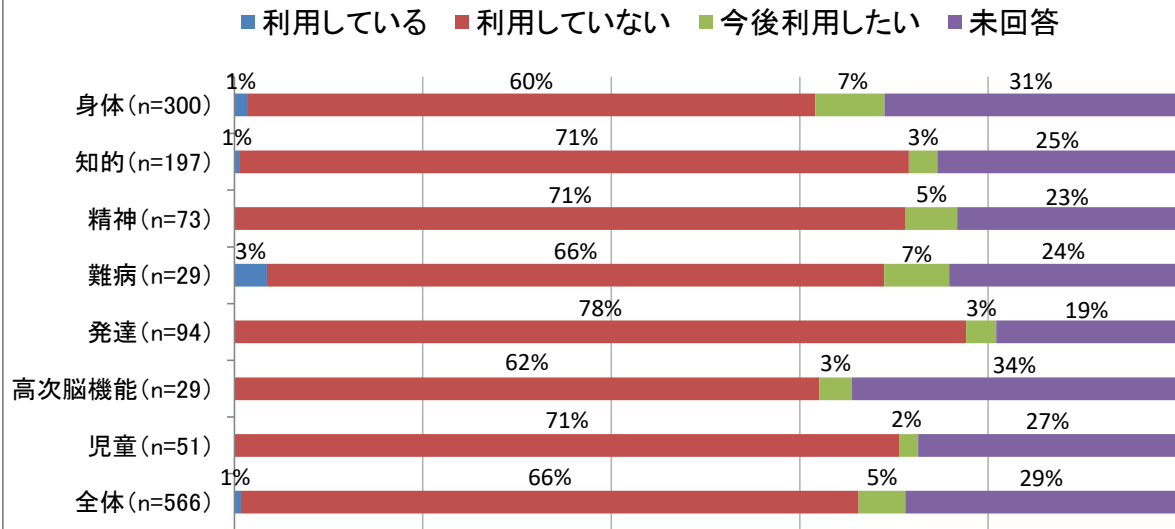
①居宅介護(ホームヘルプ)



居宅介護(ホームヘルプ)について、全体では「利用していない」が64%と最も高い割合となっています。障がい別にみると、「利用している」又は「今後利用したい」と回答した割合は、難病の認定を受けている人が最も高くなっています。

問30 あなたは次のサービスを利用していますか。
また、今後利用したいと思いますか。

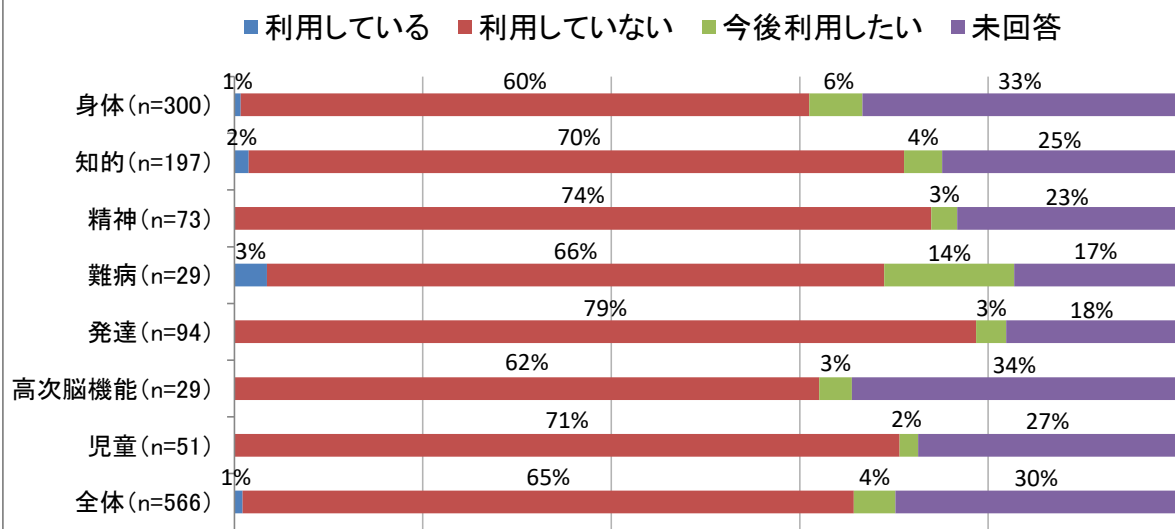
②重度訪問介護



重度訪問介護について、全体では「利用していない」が66%と最も高い割合となっています。障がい別にみると、身体障がいのある人、難病の認定を受けている人が「今後利用したい」と回答した割合が7%と他より高い割合となっています。

問30 あなたは次のサービスを利用していますか。
また、今後利用したいと思いますか。

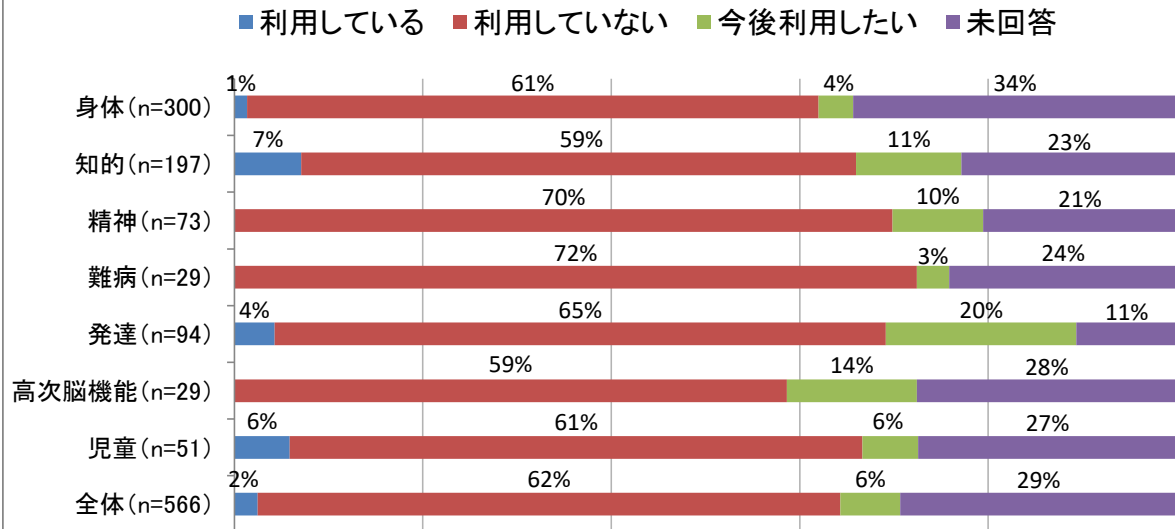
③同行援護



同行援護について、全体では「利用していない」が65%と最も高い割合となっています。障がい別にみると、「利用している」又は「今後利用したい」と回答した割合は、難病の認定を受けている人が最も高くなっています。

問30 あなたは次のサービスを利用していますか。
また、今後利用したいといますか。

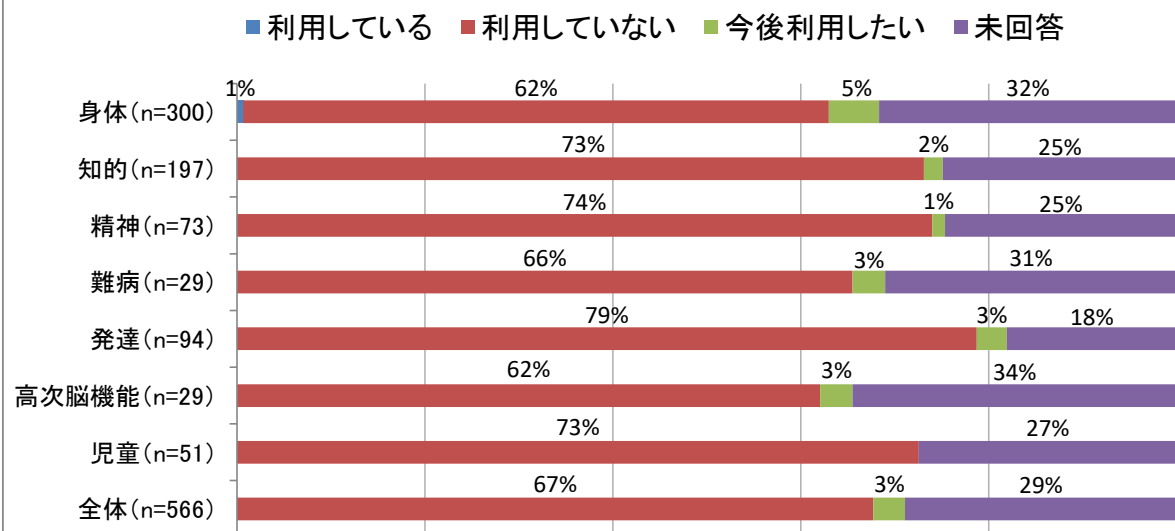
④行動援護



行動援護について、全体では「利用していない」が62%と最も高い割合となっています。障がい別にみると、「利用している」と回答した割合は知的障がいのある人が7%と最も高く、「今後利用したい」と回答した割合は発達障がいのある人が20%と最も高くなっています。

問30 あなたは次のサービスを利用していますか。
また、今後利用したいといますか。

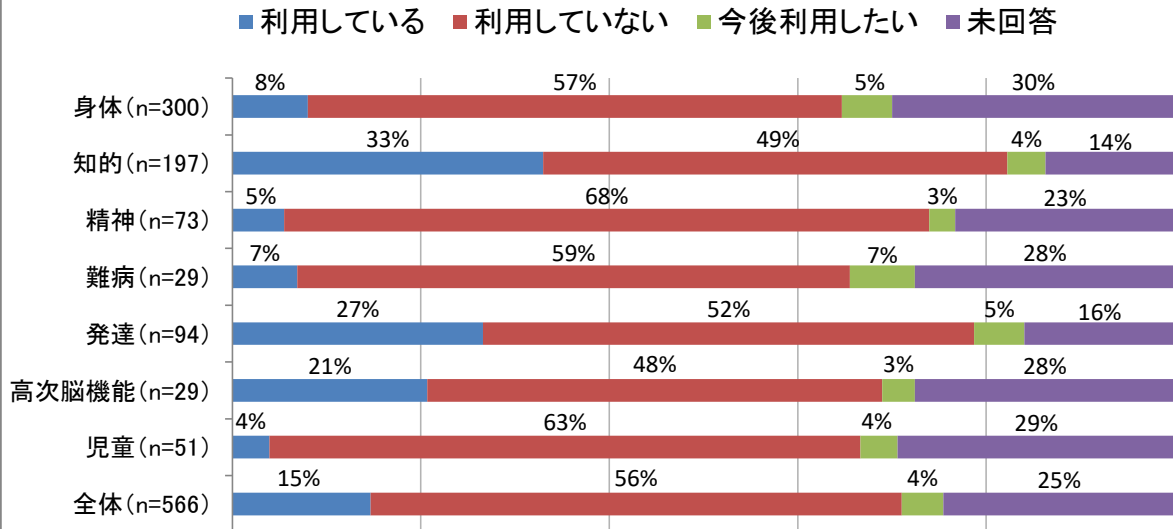
⑤重度障害者等包括支援



重度障害者等包括支援について、全体では「利用していない」が67%と最も高い割合となっています。障がい別にみると、「今後利用したい」と回答した割合は身体障がいのある人が5%と最も高くなっています。

問30 あなたは次のサービスを利用していますか。
また、今後利用したいと思いますか。

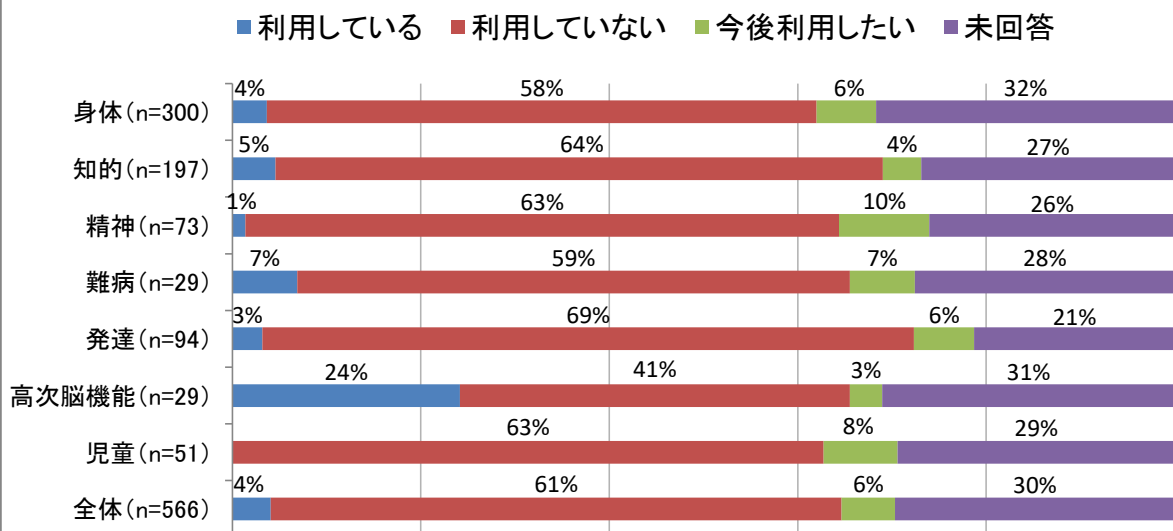
⑥生活介護



生活介護について、全体では「利用していない」が56%と最も高い割合となっています。障がい別にみると、「利用している」と回答した割合は知的障がいのある人が33%、発達障がいのある人が27%と高い割合となっています。

問30 あなたは次のサービスを利用していますか。
また、今後利用したいと思いますか。

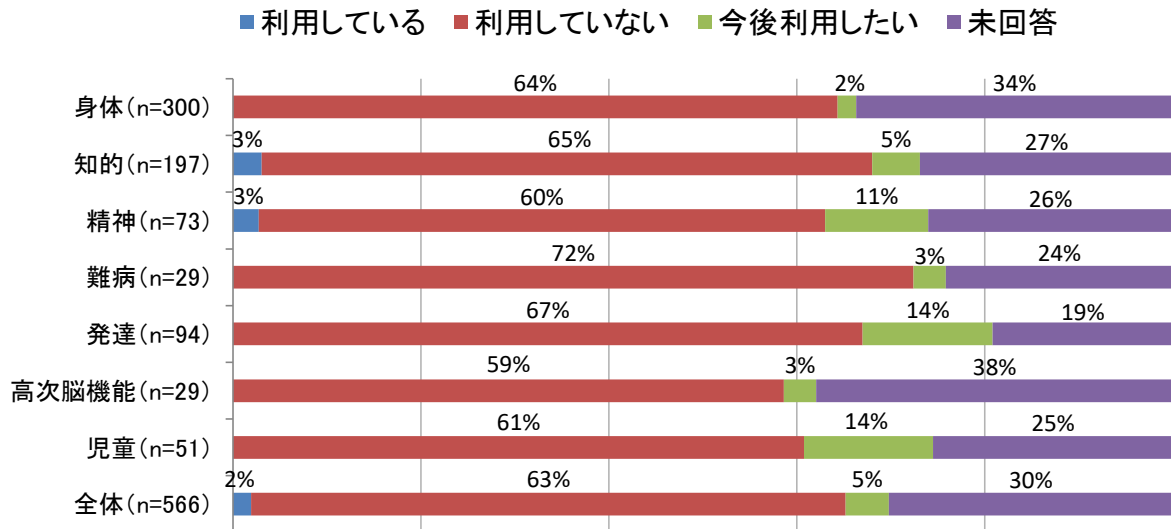
⑦自立訓練(機能訓練、生活訓練)



自立訓練について、全体では「利用していない」が61%と最も高い割合となっています。障がい別にみると、「利用している」と回答した割合は高次脳機能障がいのある人が24%と最も高くなっています。「今後利用したい」と回答した割合は、精神障がいのある人が10%と他よりも高くなっています。

問30 あなたは次のサービスを利用していますか。
また、今後利用したいと思いますか。

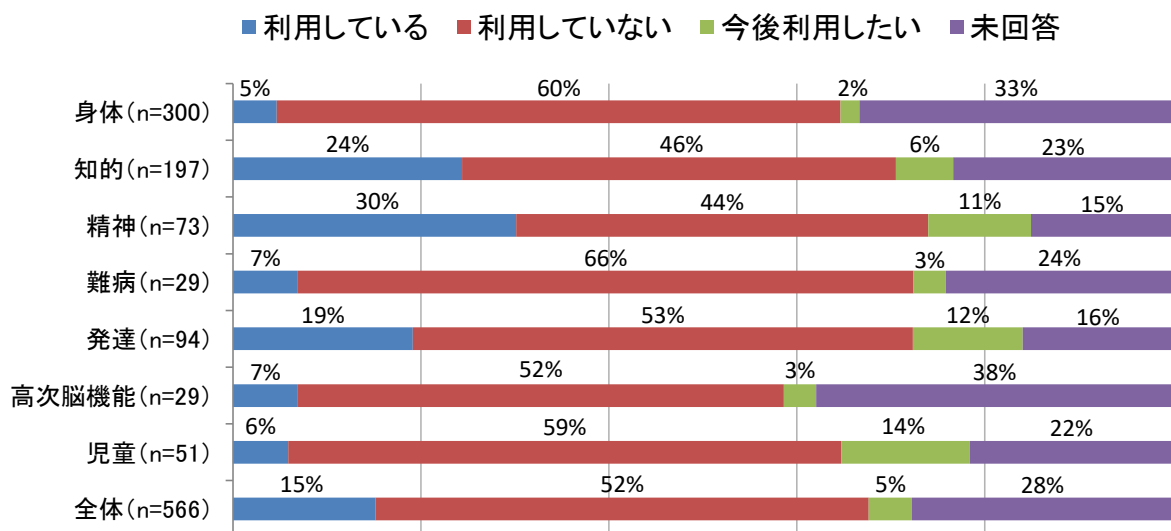
⑧就労移行支援



就労移行支援について、全体では「利用していない」が63%と最も高い割合となっています。障がい別にみると、「利用している」と回答した割合は知的、精神障がいのある人が3%と最も高く、「今後利用したい」と回答した割合は、発達障がいのある人が14%と他よりも高い割合となっています。

問30 あなたは次のサービスを利用していますか。
また、今後利用したいと思いますか。

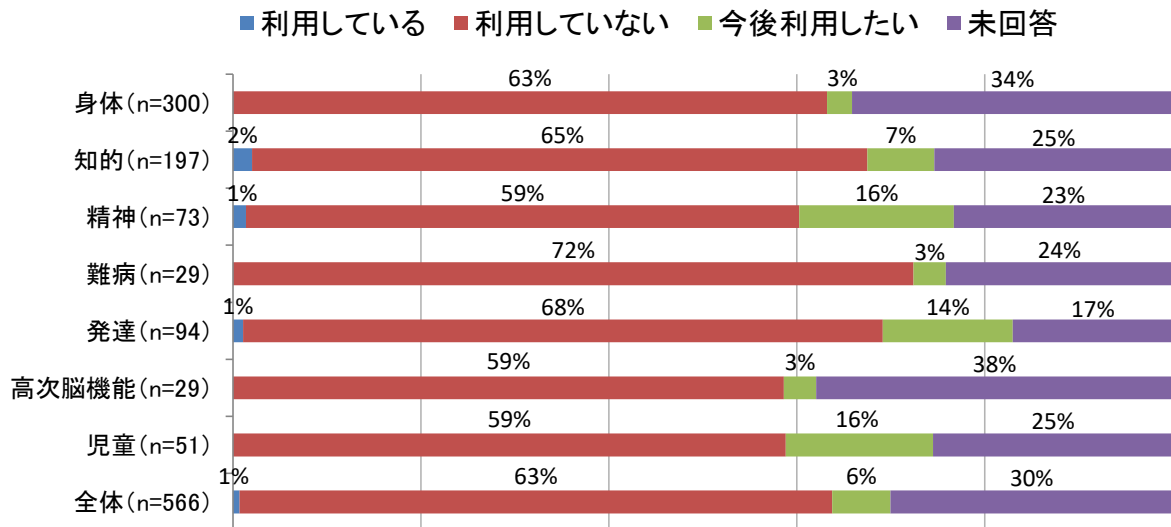
⑨就労継続支援(A型、B型)



就労継続支援について、全体では「利用していない」が52%と最も高い割合となっています。障がい別にみると、「利用している」と回答した割合は、精神障がいのある人が30%と最も高く、次いで知的障がいのある人が24%と高い割合となっています。

問30 あなたは次のサービスを利用していますか。
また、今後利用したいと思いますか。

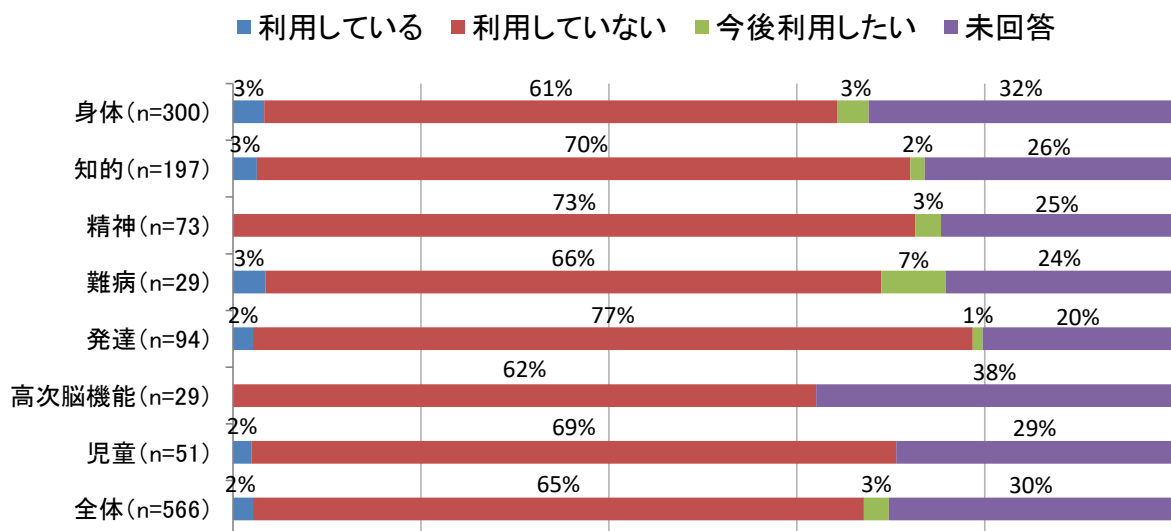
⑩就労定着支援



就労定着支援について、全体では「利用していない」が63%と最も高い割合となっています。障がい別にみると、「利用している」と回答した割合は知的障がいのある人が2%と最も高く、「今後利用したい」と回答した割合は、精神障がいのある人及び障がいのある児童が16%と最も高い割合となっています。

問30 あなたは次のサービスを利用していますか。
また、今後利用したいと思いますか。

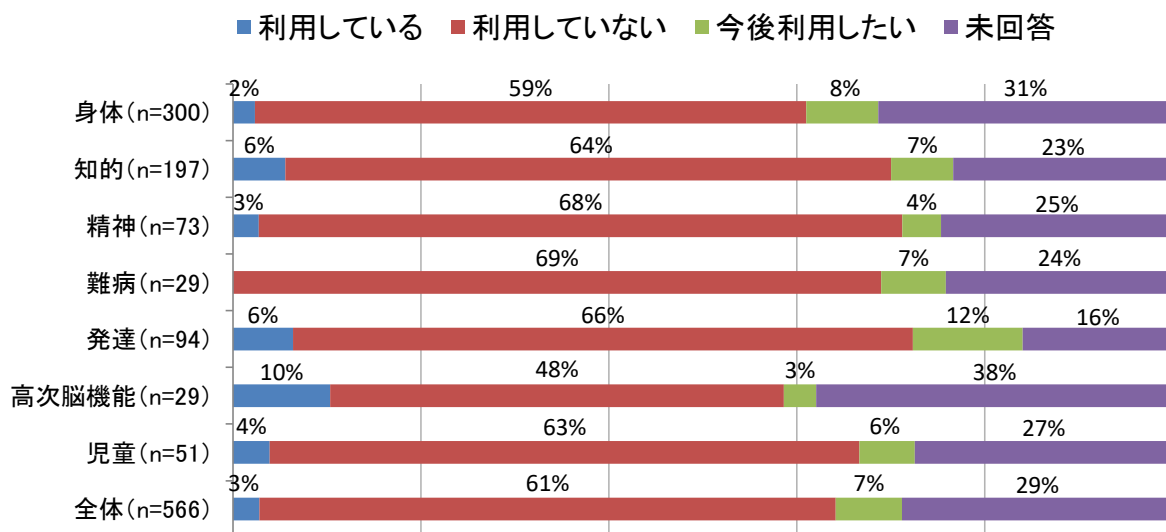
⑪療養介護



療養介護について、全体では「利用していない」が65%と最も高い割合となっています。障がい別にみると、「今後利用したい」と回答した割合は、難病の認定を受けている人が7%と最も高い割合となっています。

問30 あなたは次のサービスを利用していますか。
また、今後利用したいと思いますか。

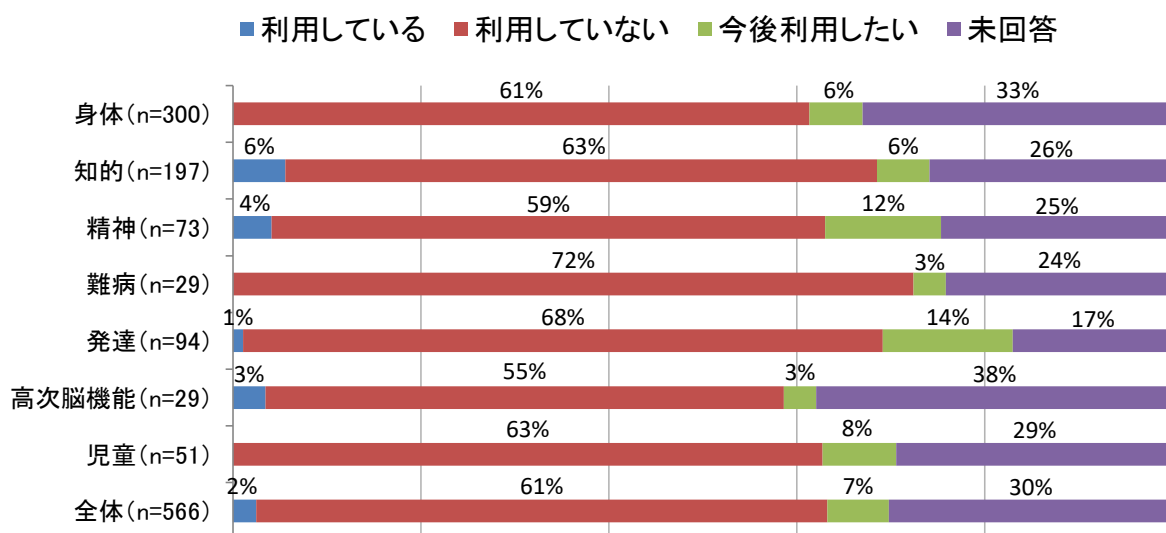
⑫短期入所(ショートステイ)



短期入所について、全体では「利用していない」が61%と最も高い割合となっています。障がい別にみると、「利用している」と回答した割合は、高次脳機能障がいのある人が10%と最も高く、「今後利用したい」と回答した割合は、発達障がいのある人が12%と最も高い割合となっています。

問30 あなたは次のサービスを利用していますか。
また、今後利用したいと思いますか。

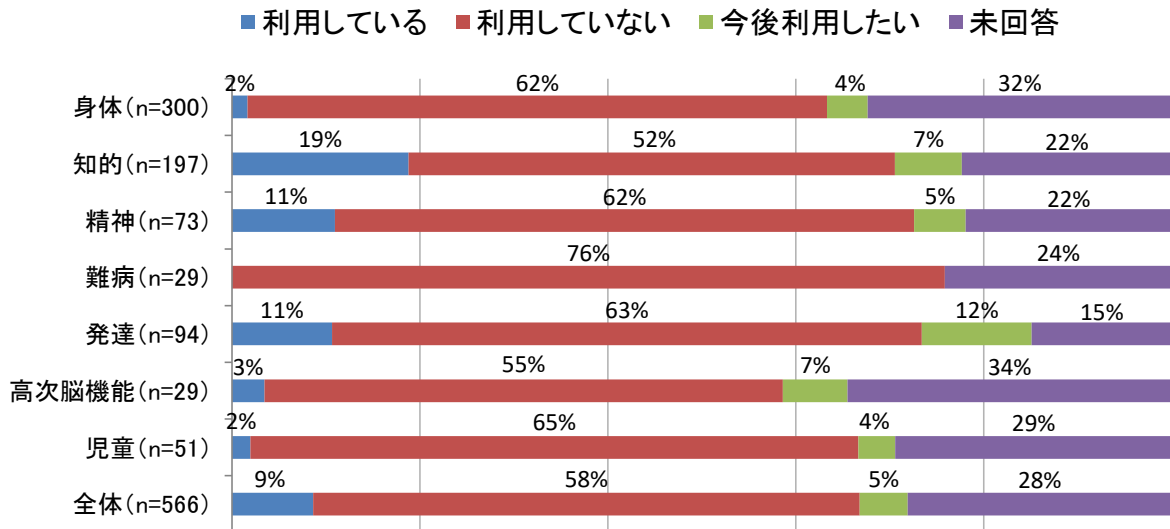
⑬自立生活援助



自立生活援助について、全体では「利用していない」が61%と最も高い割合となっています。障がい別にみると、「利用している」と回答した割合は、知的障がいのある人が6%と最も高く、「今後利用したい」と回答した割合は、発達障がいのある人が14%と最も高い割合となっています。

問30 あなたは次のサービスを利用していますか。
また、今後利用したいと思いますか。

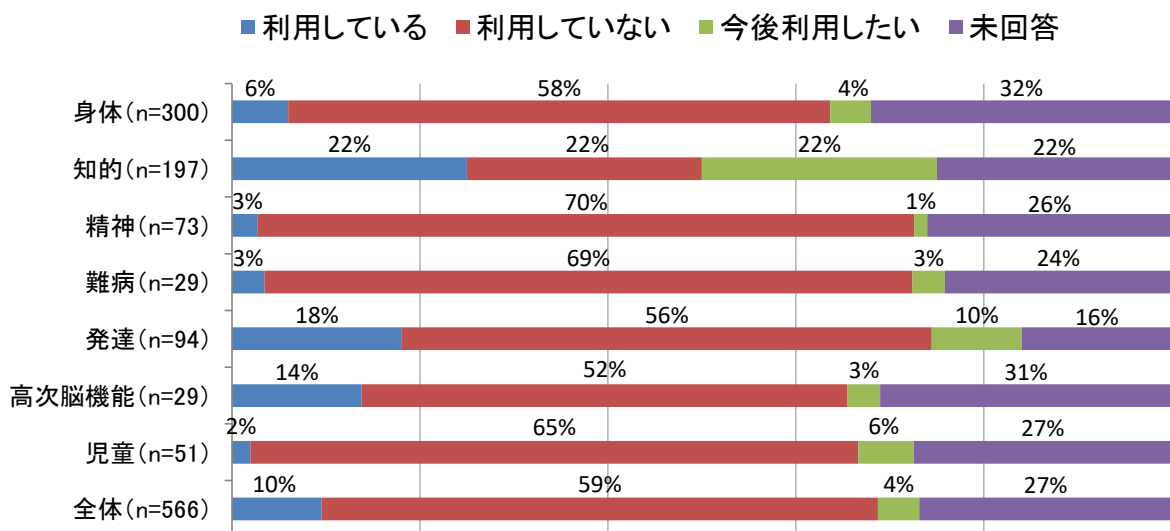
⑭共同生活援助(グループホーム)



共同生活援助について、全体では「利用していない」が58%と最も高い割合となっています。障がい別にみると、「利用している」と回答した割合は、知的障がいのある人が19%と最も高く、「今後利用したい」と回答した割合は、発達障がいのある人が12%と最も高い割合となっています。

問30 あなたは次のサービスを利用していますか。
また、今後利用したいと思いますか。

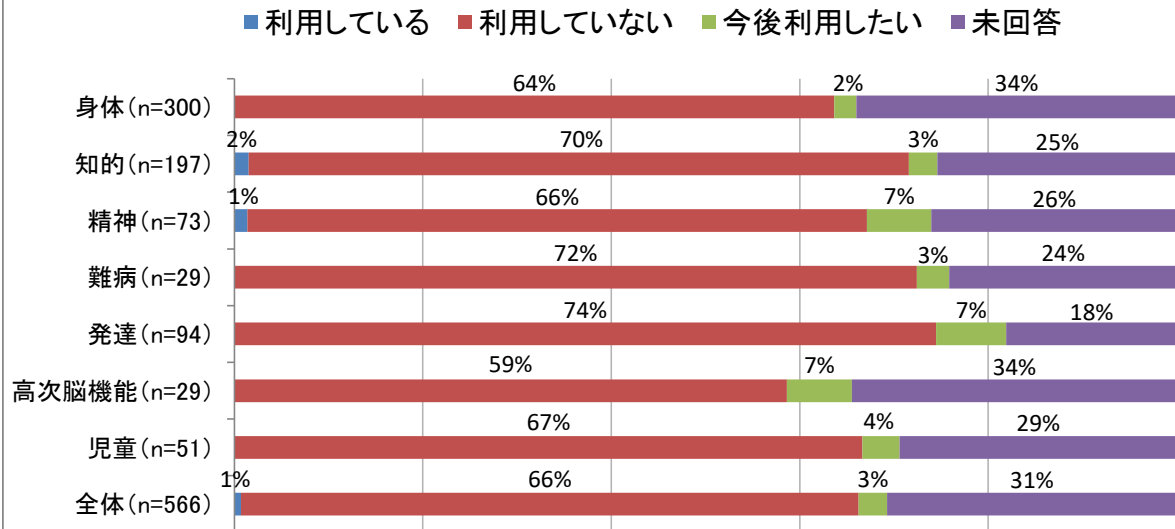
⑮施設入所支援



施設入所支援について、全体では「利用していない」が59%と最も高い割合となっています。障がい別にみると、「利用している」「今後利用したい」と回答した割合は、どちらも知的障がいのある人が22%と最も高い割合となっています。

問30 あなたは次のサービスを利用していますか。
また、今後利用したいと思いますか。

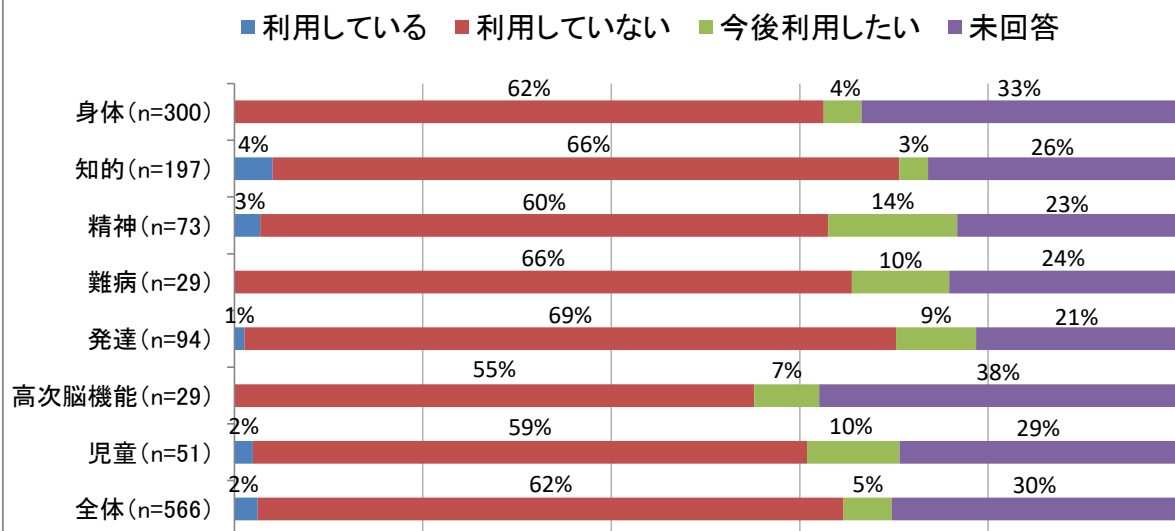
⑩地域移行支援



地域移行支援について、全体では「利用していない」が66%と最も高い割合となっています。障がい別にみると、「利用している」と回答した割合は、知的障がいのある人が2%、精神障がいのある人が1%となっています。「今後利用したい」と回答した割合は、精神、発達、高次脳機能障がいのある人が7%と高い割合となっています。

問30 あなたは次のサービスを利用していますか。
また、今後利用したいと思いますか。

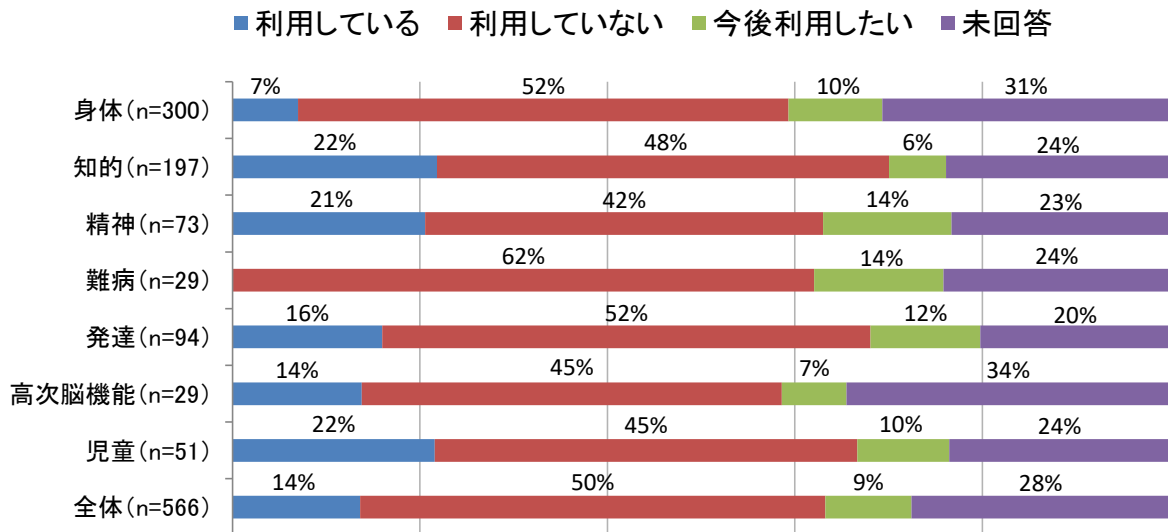
⑪地域定着支援



地域定着支援について、全体では「利用していない」が62%と最も高い割合となっています。障がい別にみると、「利用している」と回答した割合は、知的障がいのある人が4%と最も高く、「今後利用したい」と回答した割合は、精神障がいのある人が14%と最も高い割合となっています。

問30 あなたは次のサービスを利用していますか。
また、今後利用したいと思いますか。

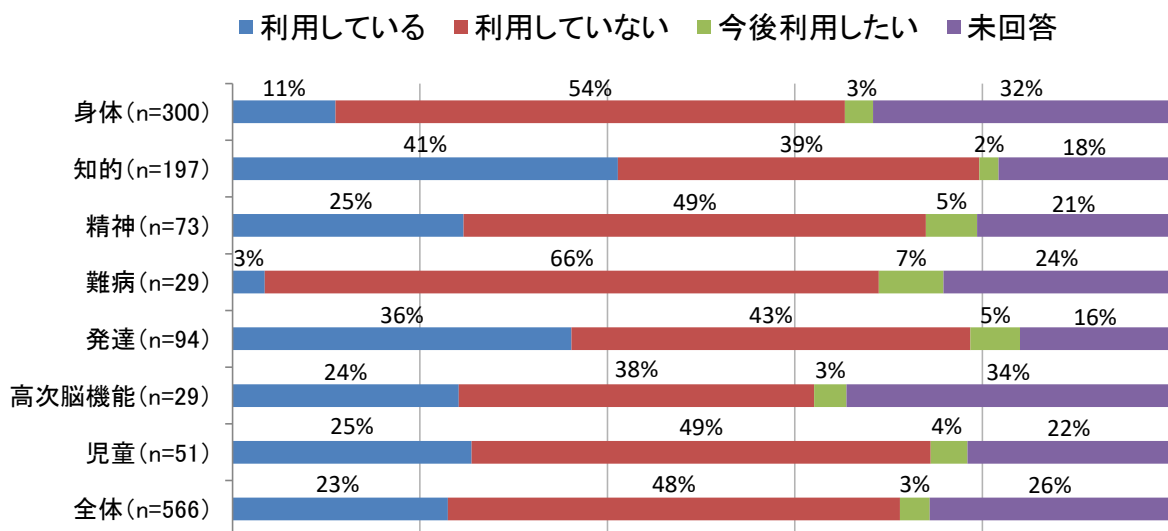
⑱相談支援



相談支援について、障がい別にみると、「利用している」と回答した割合は、知的、精神障がいのある人及び障がいのある児童で2割を占めています。難病の認定を受けている人は、「利用している」との回答はありませんでしたが、「今後利用したい」と回答した割合が14%となり、精神障がいのある人と同じ率でした。

問30 あなたは次のサービスを利用していますか。
また、今後利用したいと思いますか。

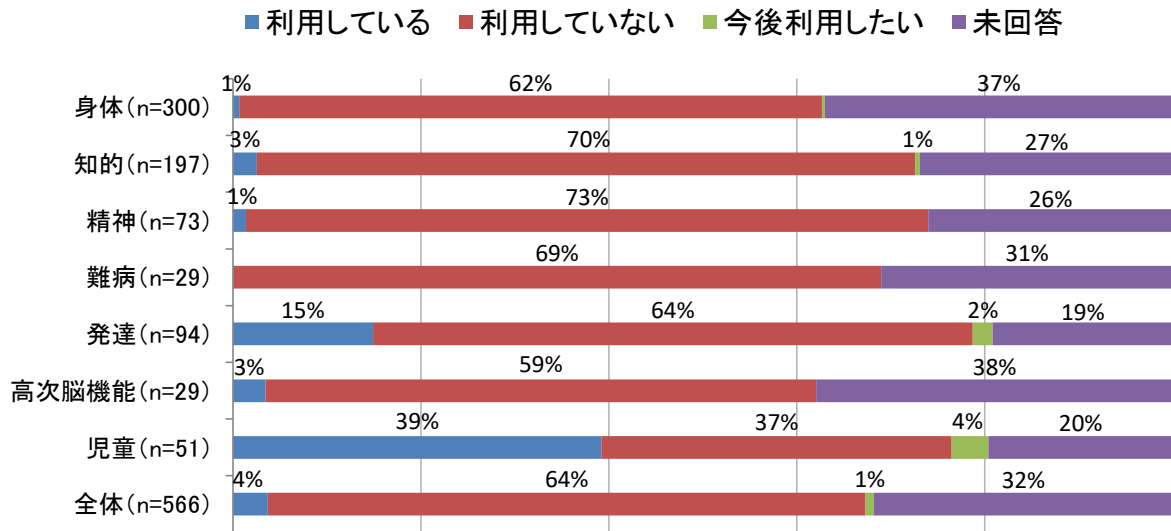
⑲計画相談支援



計画相談支援について、全体では「利用していない」が48%と最も高い割合となっています。障がい別にみると、知的障がいのある人で、「利用している」と回答した割合(41%)が、「利用していない」と回答した割合(39%)を上回っています。

問30 あなたは次のサービスを利用していますか。
また、今後利用したいといますか。

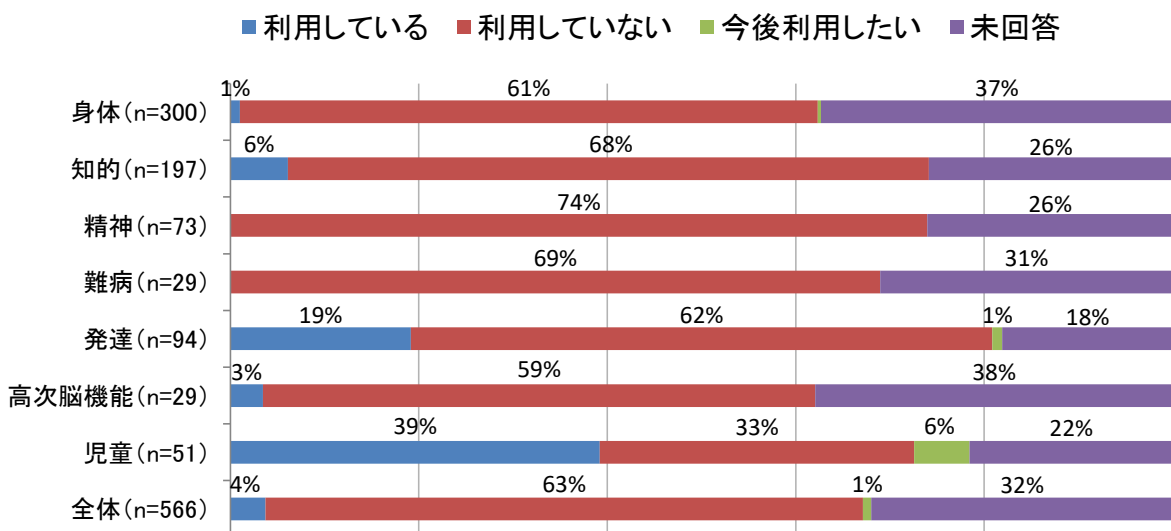
⑳ 児童発達支援



児童発達支援について、障がいのある児童の39%が「利用している」と回答し、4%が「今後利用したい」と回答しています。

問30 あなたは次のサービスを利用していますか。
また、今後利用したいといますか。

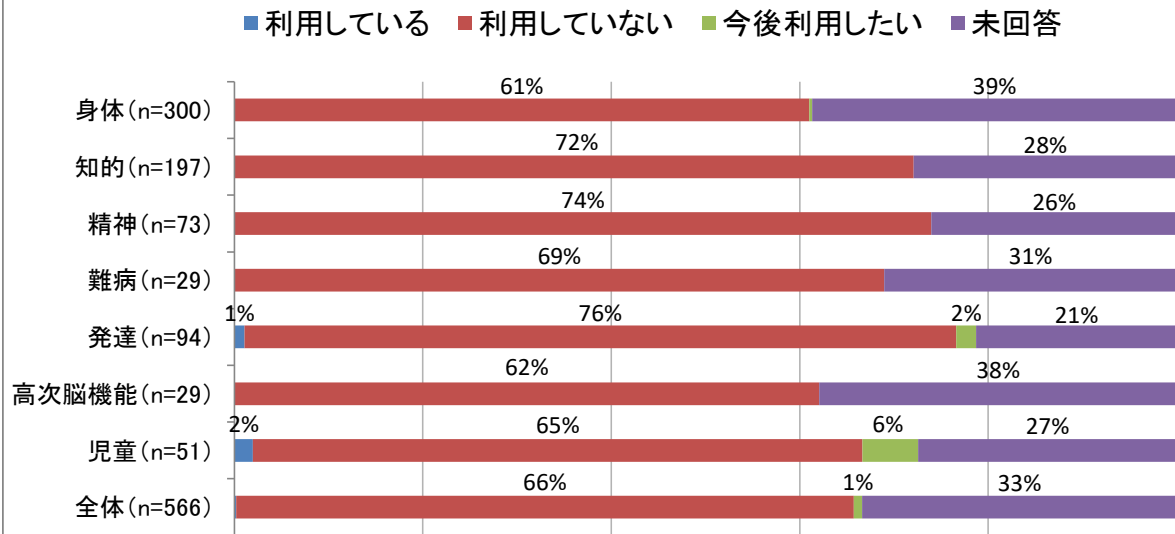
㉑ 放課後等デイサービス



放課後等デイサービスについて、障がいのある児童の39%が「利用している」と回答し、6%が「今後利用したい」と回答しています。

問30 あなたは次のサービスを利用していますか。
また、今後利用したいと思いますか。

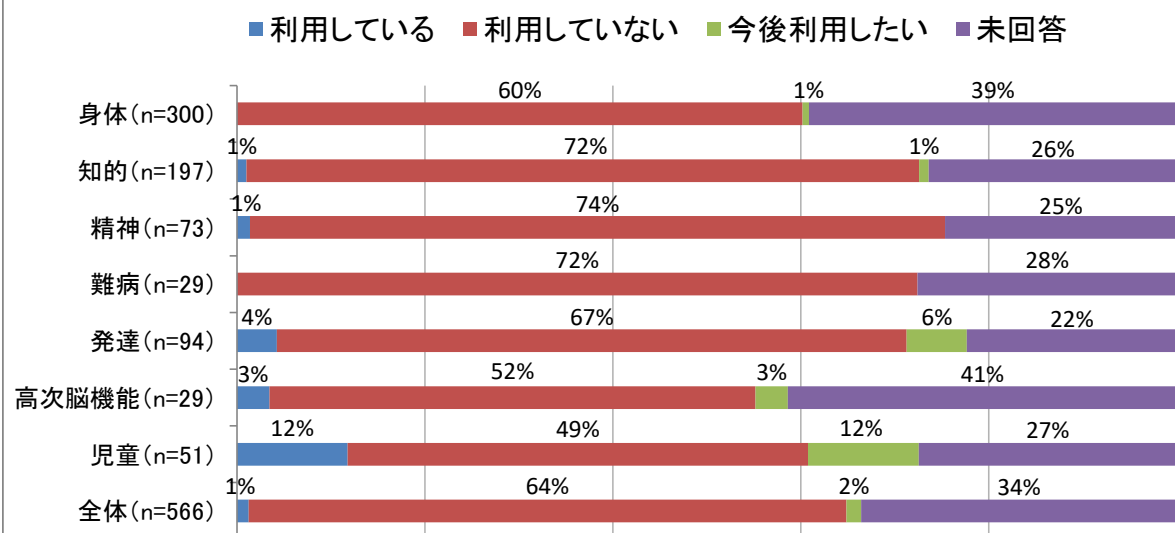
②② 保育所等訪問支援



保育所等訪問支援について、障がいのある児童の2%が「利用している」と回答し、6%が「今後利用したい」と回答しています。

問30 あなたは次のサービスを利用していますか。
また、今後利用したいと思いますか。

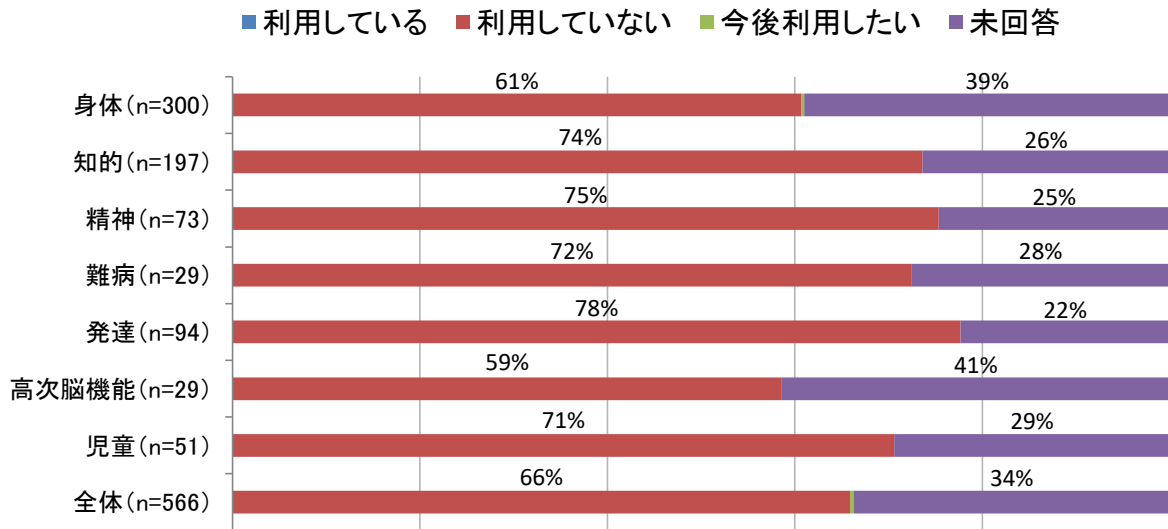
②③ 医療型児童発達支援



医療型児童発達支援について、障がいのある児童の12%が「利用している」と回答し、12%が「今後利用したい」と回答しています。

問30 あなたは次のサービスを利用していますか。
また、今後利用したいと思いますか。

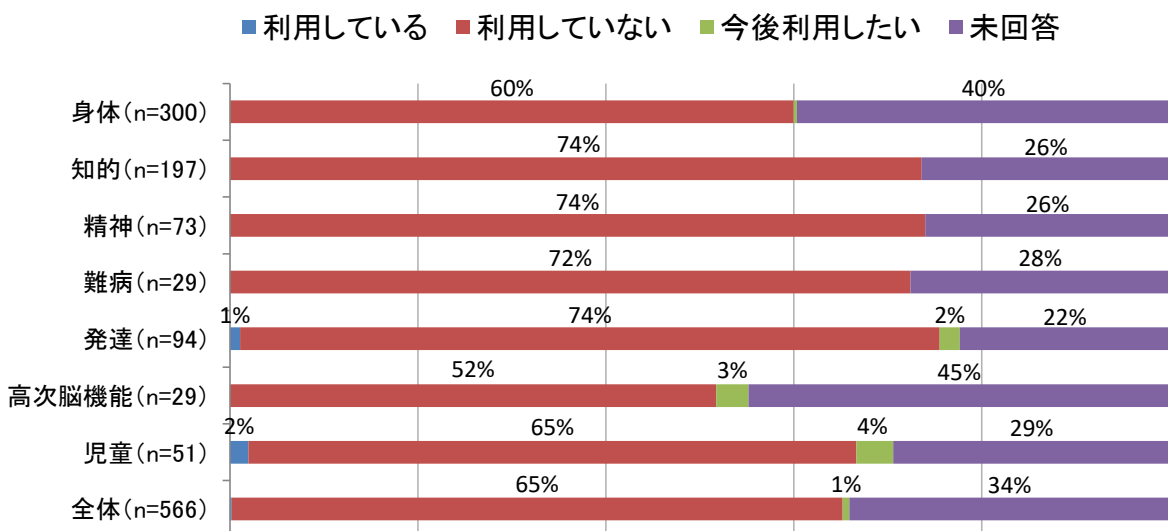
②4居宅訪問型児童発達支援



居宅訪問型児童発達支援について、「利用している」「今後利用したい」と回答した障がいのある児童の割合はどちらも0%でした。

問30 あなたは次のサービスを利用していますか。
また、今後利用したいと思いますか。

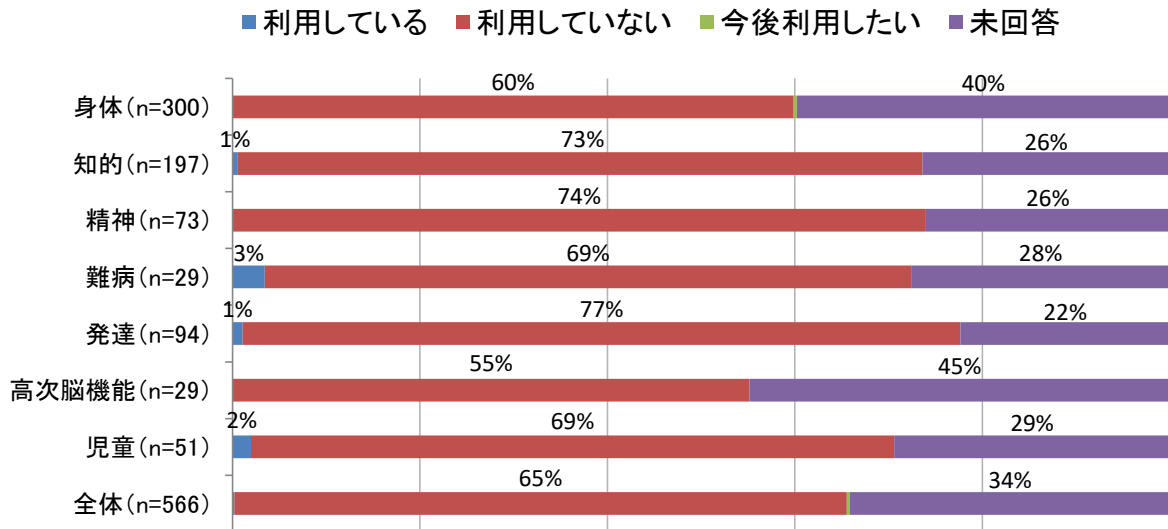
②5福祉型児童入所支援



福祉型児童入所支援について、障がいのある児童の2%が「利用している」と回答し、「今後利用したい」と回答した割合は4%でした。

問30 あなたは次のサービスを利用していますか。
また、今後利用したいと思いますか。

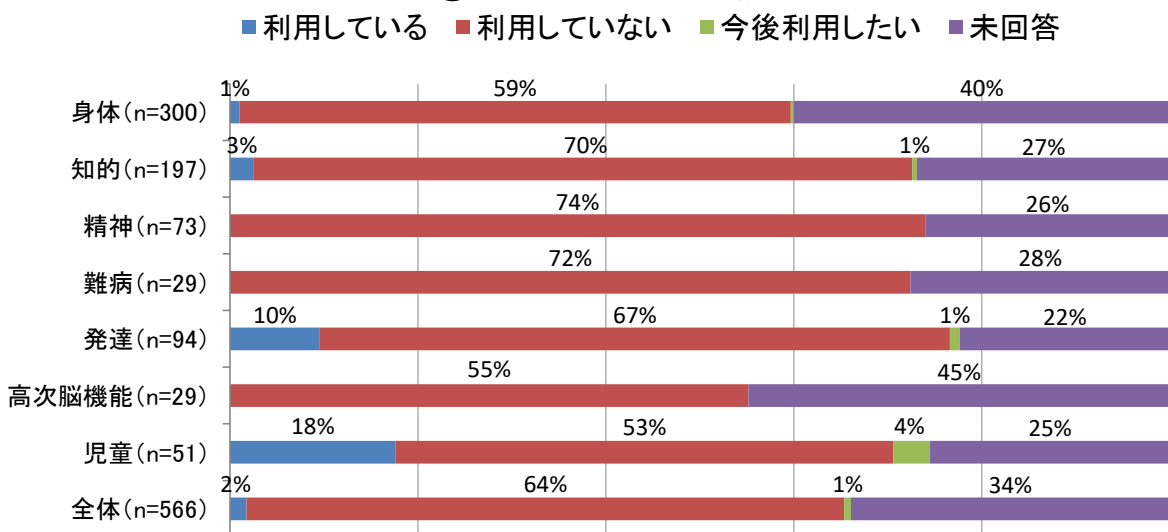
②6 医療型児童入所支援



医療型児童入所支援について、障がいのある児童の2%が「利用している」と回答し、「今後利用したい」と回答した割合は0%でした。

問30 あなたは次のサービスを利用していますか。
また、今後利用したいと思いますか。

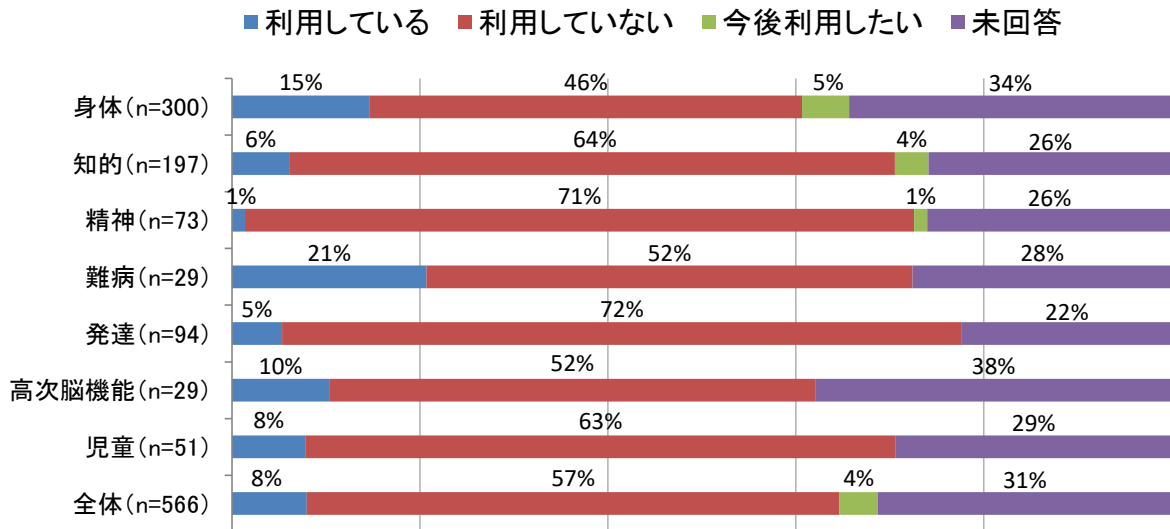
②7 障害児相談支援



障害児相談支援について、障がいのある児童の18%が「利用している」と回答し、「今後利用したい」と回答した割合は4%でした。

問30 あなたは次のサービスを利用していますか。
また、今後利用したいと思いますか。

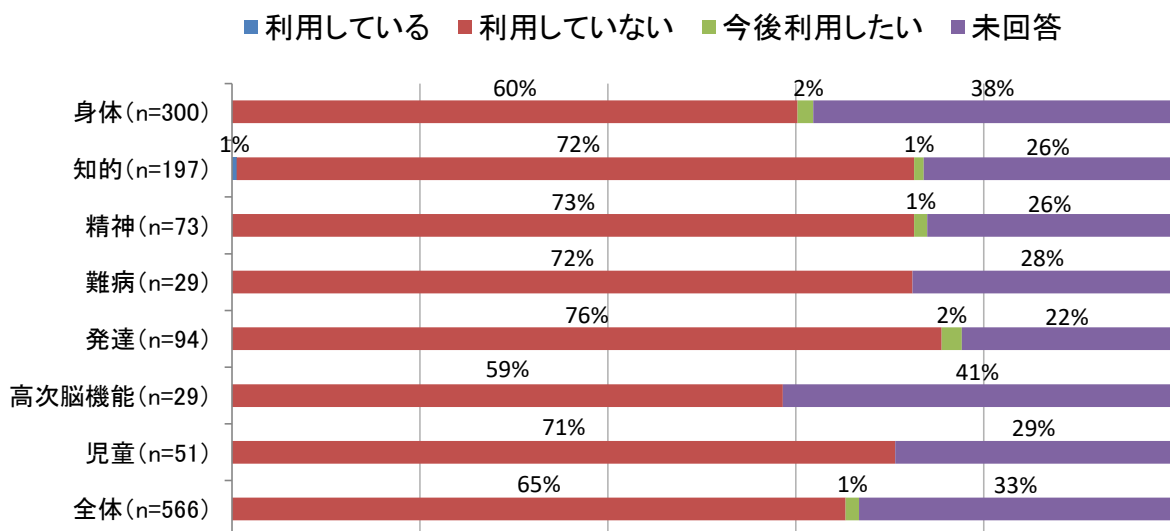
⑳補装具費支給制度



補装具費支給制度について、全体では「利用していない」が57%と最も高い割合となっています。障がい別にみると、「利用している」と回答した割合は、難病の認定を受けている人で21%が最も高く、身体障がいのある人の15%が次いで高い割合となっています。

問30 あなたは次のサービスを利用していますか。
また、今後利用したいと思いますか。

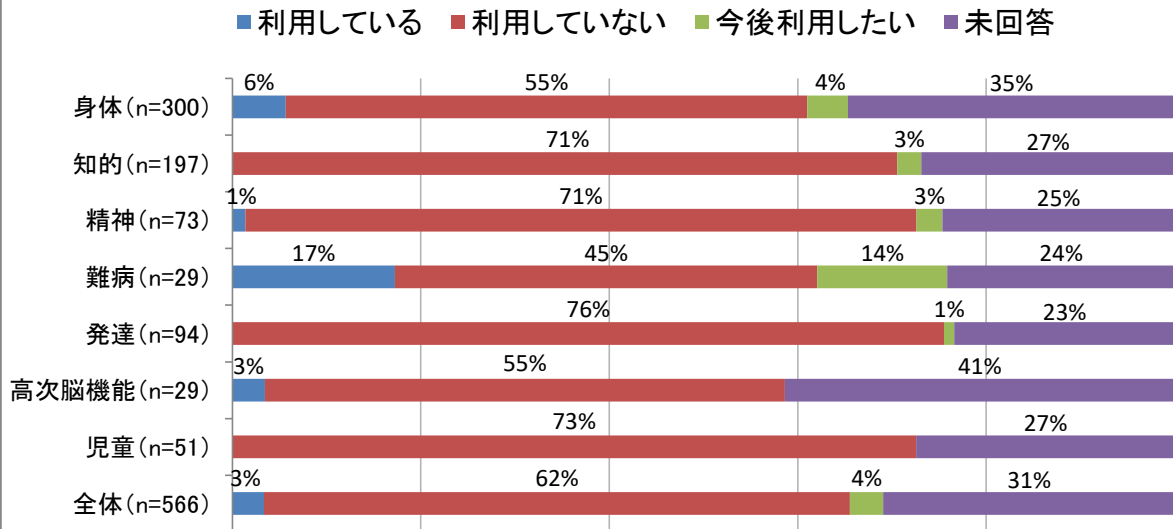
㉑意思疎通支援事業



意思疎通支援事業について、全体では「今後利用したい」と回答した割合が1%となっています。

問30 あなたは次のサービスを利用していますか。
また、今後利用したいと思いますか。

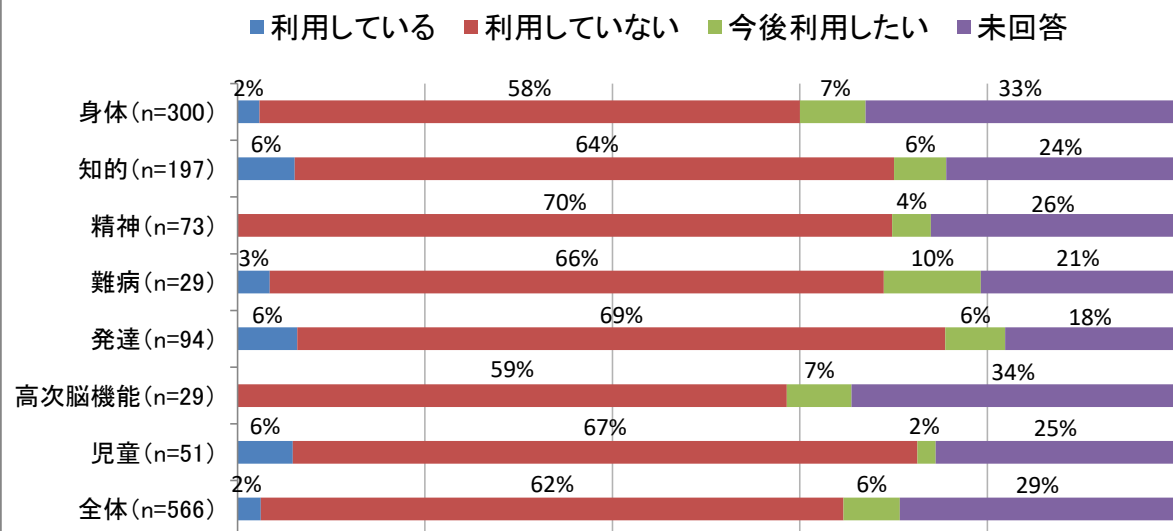
③0日常生活用具給付等事業



日常生活用具給付等事業について、全体では「利用していない」が62%と最も高い割合となっています。障がい別にみると、「利用している」と回答した割合は、難病の認定を受けている人が17%と最も高く、身体障がいのある人が6%と次いで高い割合となっています。

問30 あなたは次のサービスを利用していますか。
また、今後利用したいと思いますか。

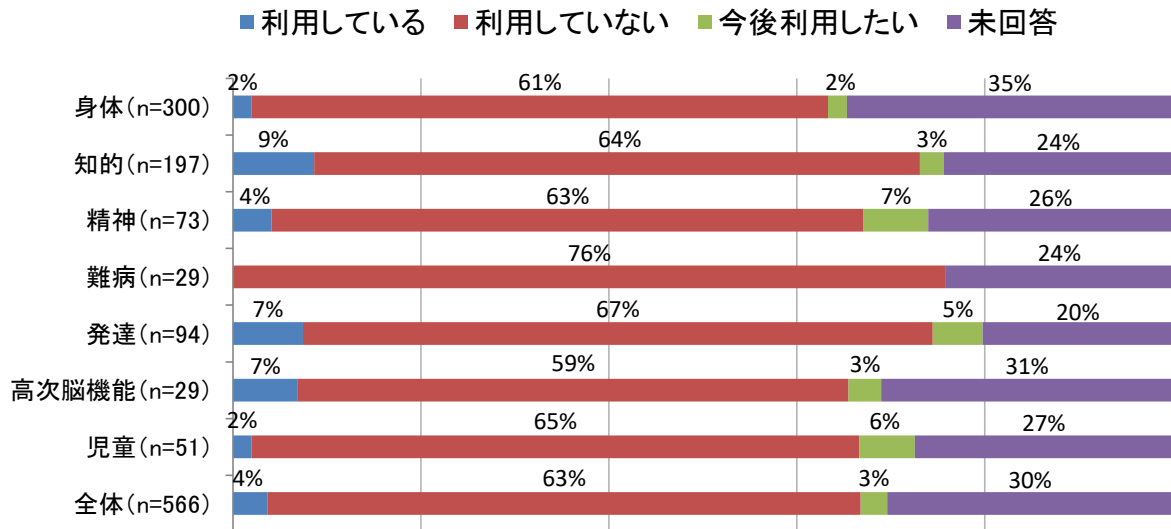
③1移動支援事業



移動支援事業について、全体では「利用していない」が62%と最も高い割合となっています。障がい別にみると、「利用している」と回答した割合は、知的、発達障がいのある人及び障がいのある児童が6%と最も高く、「今後利用したい」と回答した割合は、難病の認定を受けている人が10%と他より高くなっています。

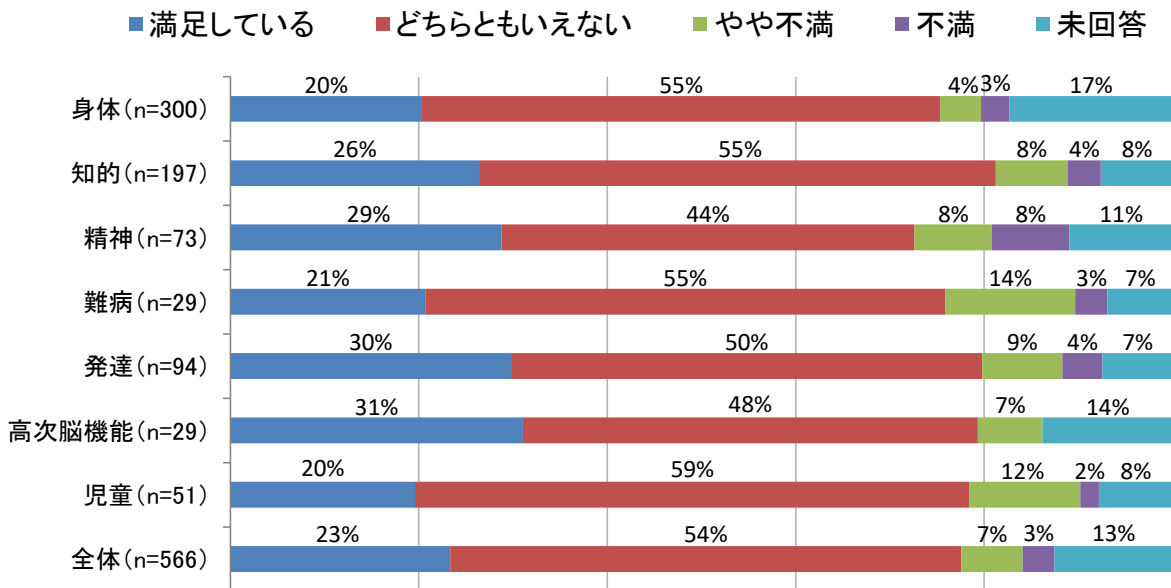
問30 あなたは次のサービスを利用していますか。
また、今後利用したいと思いますか。

③2 日中一時支援事業



日中一時支援事業について、全体では「利用していない」が63%と最も高い割合となっています。障がい別にみると、「利用している」と回答した割合は、知的障がいのある人が9%と最も高く、「今後利用したい」と回答した割合は、精神障がいのある人が7%と最も高くなっています。

問31 あなたは、砂川市の障がい者福祉サービスに満足していますか。



砂川市の障がい福祉サービス満足度について、全体では「どちらともいえない」が54%と最も高い割合となっています。障がい別にみると、「やや不満」と回答した割合は、難病の認定を受けている人が14%と最も高く、「不満」と回答した割合は、精神障がいのある人が8%と最も高くなっています。

問32 あなたは、普段、悩みや困ったことをどなたに相談しますか。

(複数回答可)

項目	身体		知的		精神		難病		発達		高次脳機能		児童		合計	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
家族や親せき	208	38	96	25	39	20	23	38	61	28	18	32	40	35	485	31
友人・知人	88	16	33	9	22	11	9	15	17	8	3	5	10	9	182	12
近所の人	13	2	3	1	2	1	1	2	1	0	0	0	0	0	20	1
職場の上司や同僚	7	1	14	4	6	3	0	0	6	3	2	4	1	1	36	2
施設の職員など	61	11	118	31	31	16	5	8	50	23	10	18	12	10	287	18
障害福祉サービス事業所の職員	20	4	39	10	19	10	3	5	23	10	5	9	10	9	119	8
障がい者団体や家族会	1	0	0	0	4	2	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0
かかりつけの医師や看護師	56	10	22	6	25	13	9	15	22	10	6	11	10	9	150	10
病院のソーシャルワーカーや介護保険のケアマネージャー	22	4	4	1	14	7	3	5	1	0	2	4	1	1	47	3
民生委員・児童委員	2	0	3	1	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	8	1
保育所、幼稚園、学校の先生	2	0	7	2	0	0	0	0	17	8	1	2	19	17	46	3
相談支援事業所などの民間の相談窓口	6	1	10	3	9	5	0	0	9	4	0	0	6	5	40	3
市役所などの相談窓口	27	5	11	3	10	5	3	5	5	2	6	11	2	2	64	4
その他	5	1	5	1	3	2	1	2	4	2	0	0	0	0	18	1
未回答	28	5	12	3	7	4	3	5	4	2	4	7	4	3	62	4
合計	546	100	377	100	194	100	60	100	220	100	57	100	115	100	1,569	100

悩みや困ったことの相談相手について、全体では「家族や親せき」が31%と最も高い割合で、次いで「施設の職員など」(18%)、「友人・知人」(12%)の順に高い割合となっています。障がい別にみると、知的障がいのある人は、「施設の職員など」が31%と最も高くなっていて、その他の障がいでは、「家族や親せき」が相談相手として最も高い割合を占めています。

※その他回答:「相談できる相手がない」、「ハローワーク障害者担当窓口、障害者職業センター」、「社会福祉協議会」、「クリニックのカウンセラー」等

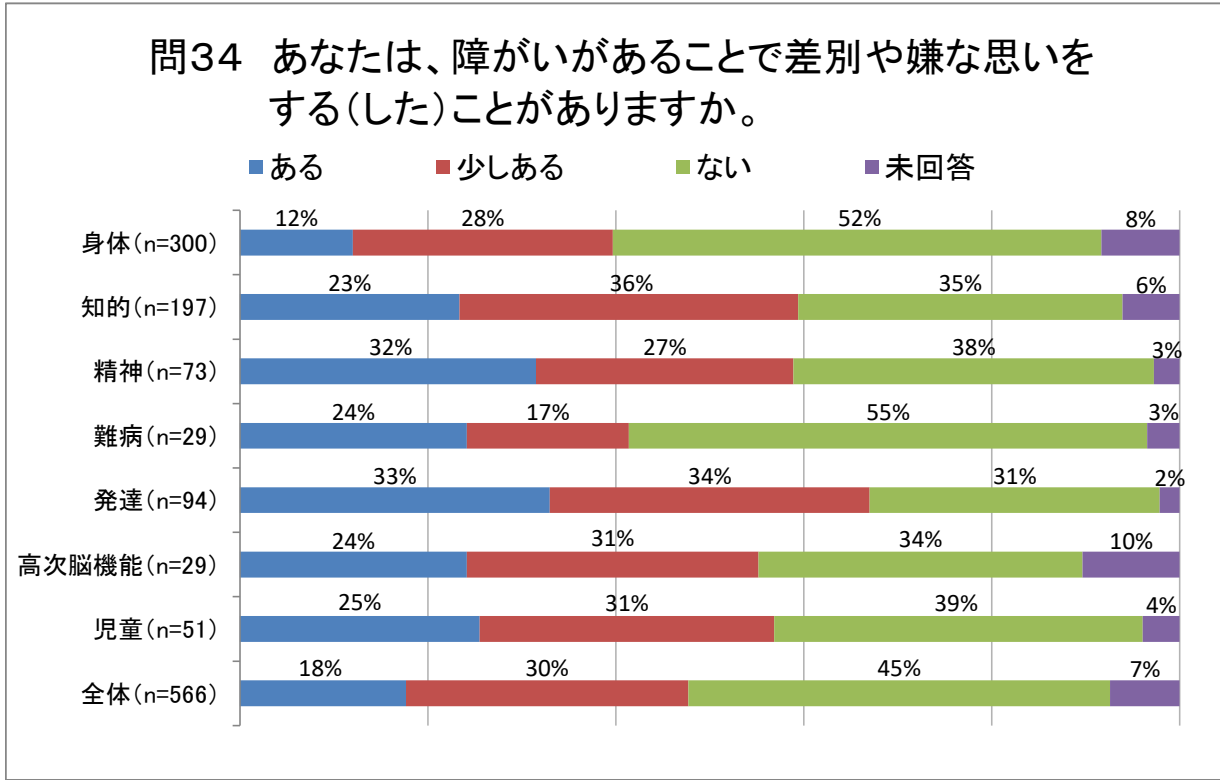
問33 あなたは、障がいのことや福祉サービスなどに関する情報を、
どこから知ることが多いですか。

(複数回答可)

項目	身体		知的		精神		難病		発達		高次脳機能		児童		合計	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
本や新聞、雑誌の記事、テレビやラジオのニュース	87	16	42	13	20	13	8	12	20	10	7	11	10	10	194	13
市役所などが発行する広報誌	119	22	25	8	14	9	12	18	17	9	8	12	10	10	205	14
インターネット	41	7	21	7	20	13	8	12	18	9	3	5	15	15	126	9
家族や親せき、友人、知人	85	15	48	15	15	10	10	15	31	16	7	11	17	17	213	15
障害福祉サービス事業所の職員	39	7	80	25	21	14	3	5	37	19	10	15	13	13	203	14
障がい者団体や家族会(団体の機関誌など)	4	1	4	1	3	2	1	2	3	2	0	0	0	0	15	1
かかりつけの医師や看護師	48	9	14	4	17	11	8	12	14	7	7	11	7	7	115	8
病院のソーシャルワーカーや介護保険のケアマネージャー	38	7	6	2	14	9	8	12	3	2	7	11	1	1	77	5
民生委員・児童委員	1	0	2	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0
保育所、幼稚園、学校の先生	1	0	6	2	1	1	0	0	9	5	0	0	10	10	27	2
相談支援事業所などの民間の相談窓口	7	1	11	3	7	5	1	2	8	4	2	3	6	6	42	3
市役所などの相談窓口	35	6	20	6	7	5	2	3	11	6	6	9	4	4	85	6
その他	10	2	14	4	3	2	3	5	7	4	1	2	0	0	38	3
未回答	38	7	28	9	10	7	2	3	13	7	7	11	7	7	105	7
合計	553	100	321	100	153	100	66	100	191	100	65	100	100	100	1,449	100

障害福祉サービスの主な情報源について、全体では「家族や親せき、友人、知人」が15%と最も高い割合で、次いで「市役所などが発行する広報誌」及び「障害福祉サービス事業所の職員」が14%と高い割合となっています。障がい別にみると、知的障がいのある人は、「障害福祉サービス事業所の職員」が25%と他よりも高い割合となっています。

※その他回答:「情報が入ってこない」、「文字を理解できないため、情報を得ることができていない」、「手帳交付時の説明以外で聞いたことがない」、「社会福祉協議会」等



障がいがあることで差別や嫌な思いをしたことがあるかについて、全体では、「ある」又は「少しある」と回答した割合の合計が48%で、5割近くが差別や嫌な思いをしたことがあると回答しています。障がい別にみると、発達障がいのある人が、「ある」又は「少しある」と回答した割合が67%と高くなっています。

問35 どのような場面で差別や嫌な思いをしましたか。

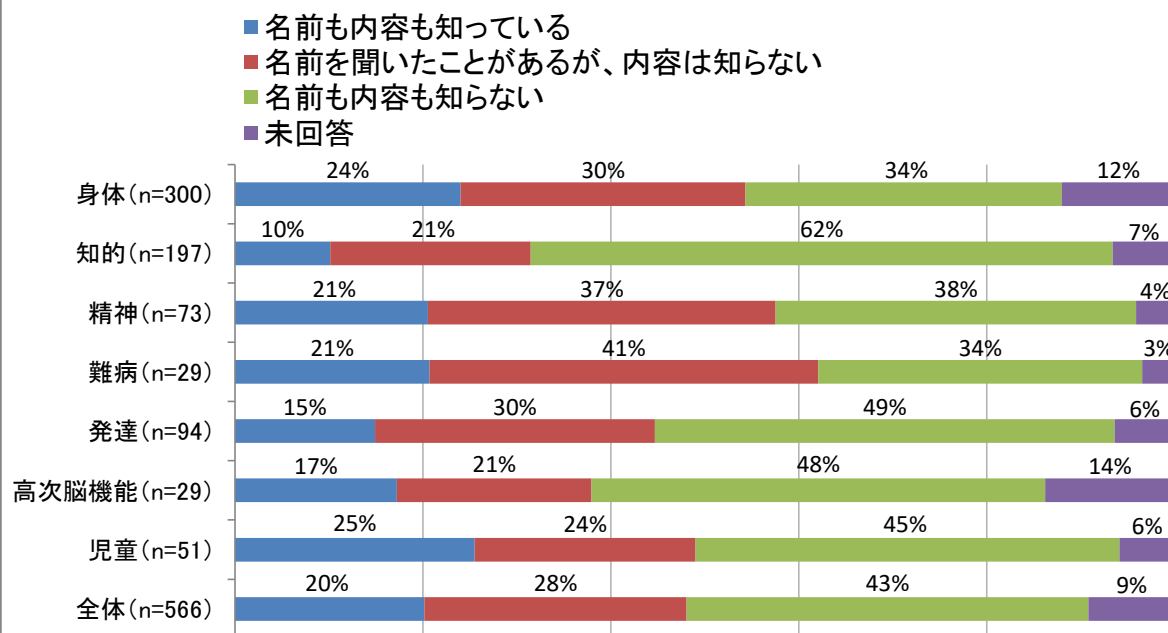
問34で「ある」又は「少しある」と答えた方が回答 (複数回答可)

項目	身体		知的		精神		難病		発達		高次脳機能		児童		合計	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
学校・職場	22	6	55	32	23	26	1	4	31	31	3	12	22	54	157	19
仕事を探すとき	17	5	9	5	10	11	4	15	6	6	2	8	1	2	49	6
外出先	61	17	48	28	14	16	7	27	25	25	6	23	7	17	168	21
余暇を楽しむとき	14	4	9	5	6	7	0	0	9	9	1	4	3	7	42	5
病院などの医療機関	32	9	17	10	12	13	5	19	8	8	8	31	1	2	83	10
住んでいる地域	14	4	18	10	14	16	5	19	9	9	4	15	2	5	66	8
自宅	1	0	4	2	7	8	0	0	3	3	2	8	1	2	18	2
その他	7	2	6	3	2	2	2	8	5	5	0	0	2	5	24	3
未回答	187	53	6	3	2	2	2	8	5	5	0	0	2	5	204	25
合計	355	100	172	100	90	100	26	100	101	100	26	100	41	100	811	100

差別や嫌な思いをした場所について、全体では、「外出先」が21%と最も高くなっています。障がい別にみると、知的、精神、発達障がいのある人及び障がいのある児童は、「学校・職場」が最も多くなっています。

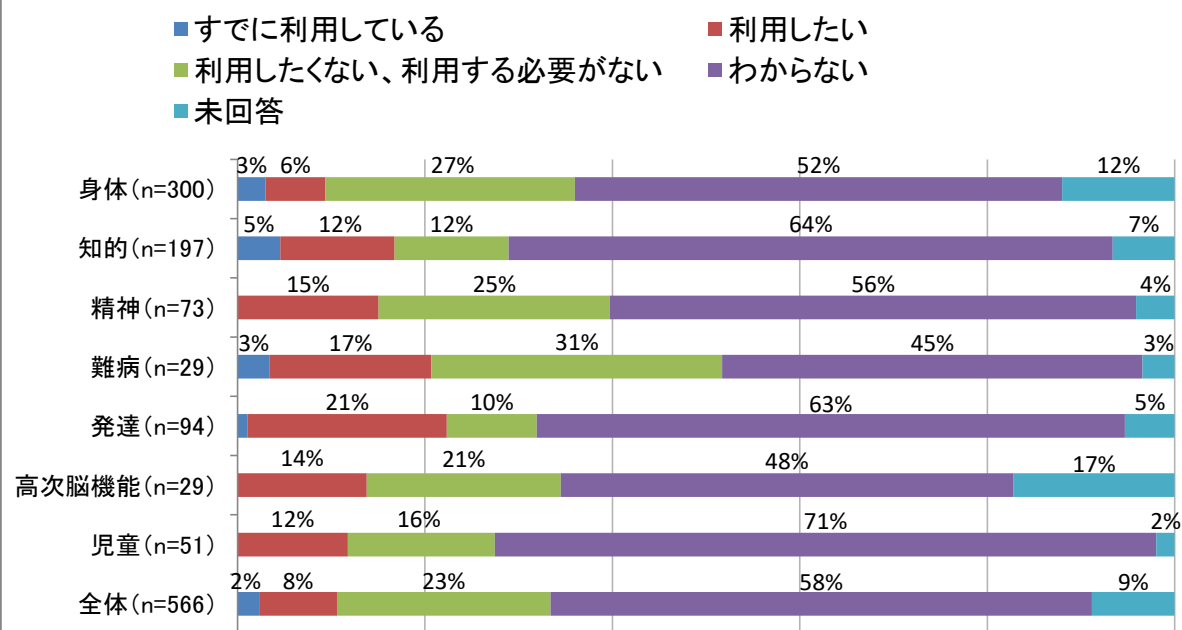
※その他回答:「ネット、SNS、オンラインゲーム」、「就学時検診」、「保育所」

問36 成年後見制度についてご存じですか。



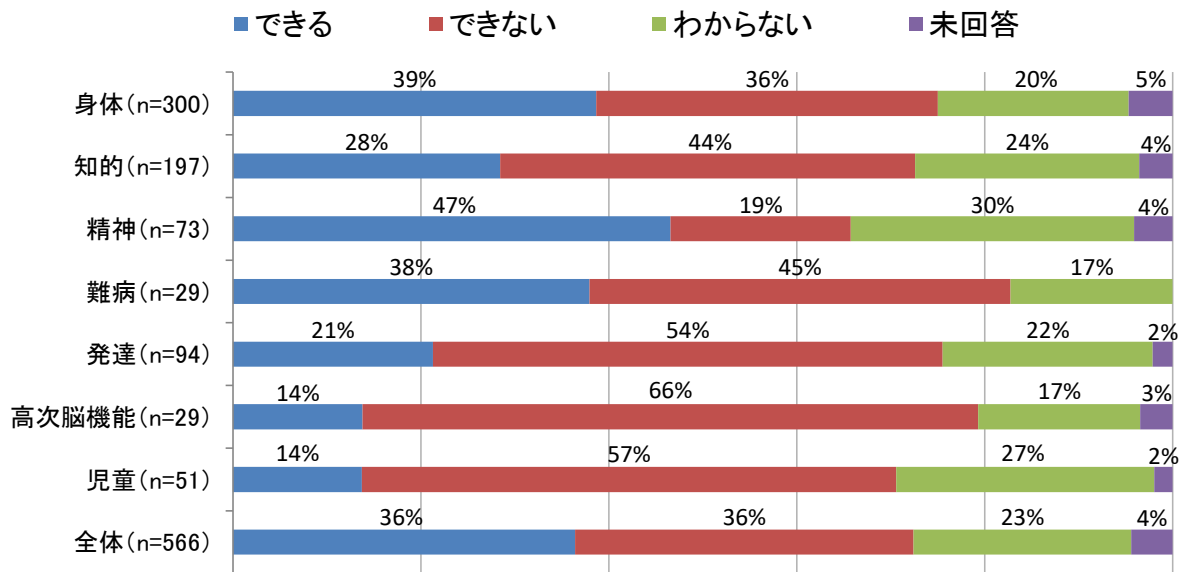
成年後見制度について、全体では、「名前も内容も知らない」が43%と最も高く、次に「名前を聞いたことがあるが、内容は知らない」が28%と高い割合となっています。障がい別にみると、知的障がいのある人が「名前も内容も知らない」と回答した割合が62%と最も高くなっています。

問37 あなたは今後、成年後見制度を利用したいと思いますか。



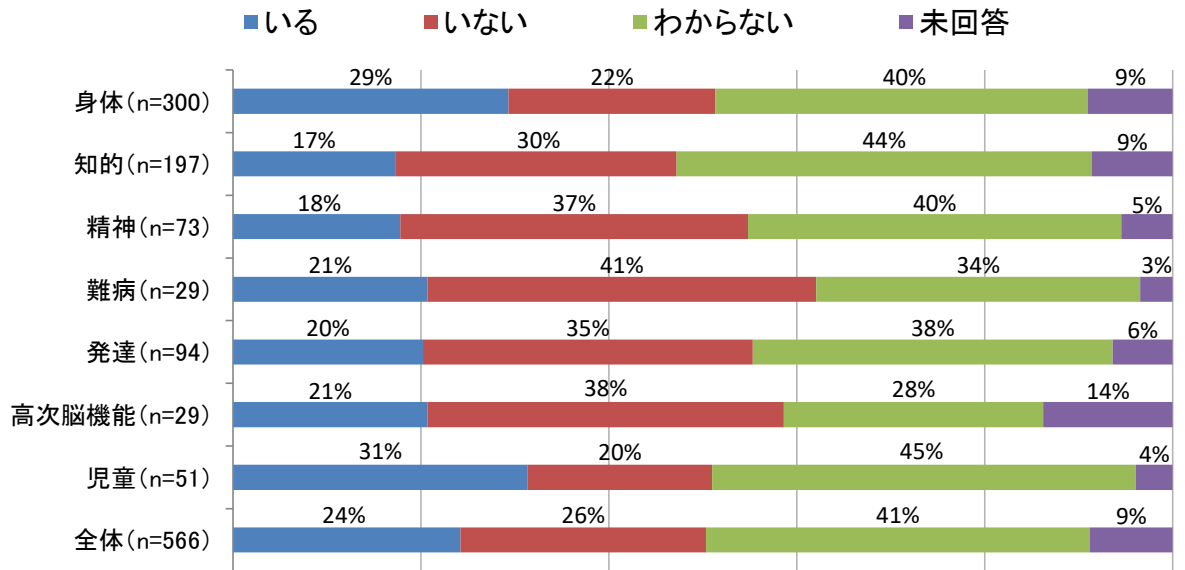
成年後見制度を利用したいと思うかについて、全体では、「わからない」が58%と最も高く、「利用したくない、利用する必要がない」が23%と次いで高い割合となっています。障がい別にみると、「利用したい」と回答した割合は、発達障がいのある人が21%と最も高くなっています。

問38 あなたは、火事や地震、停電などの災害時に一人で避難できますか。



災害時に一人で避難できるかについて、全体では、「できる」と回答した人と「できない」と回答した人の割合が36%と同じ割合となっています。障がい別にみると、高次脳機能障がいがある人が「できない」と回答した割合が66%と他の障がいよりも高くなっています。

問39 家族が不在の場合や一人暮らしの場合、近所にあなただけを助けてくれる人はいますか。



近所に助けてくれる人がいるかについて、全体では、「わからない」と回答した人が41%と最も高く、「いない」が26%と次いで高い割合となっています。障がい別にみると、難病の認定を受けている人が「いない」と回答した割合が41%と最も高くなっています。

問40 火事や地震、停電などの災害時に困ることは何ですか。

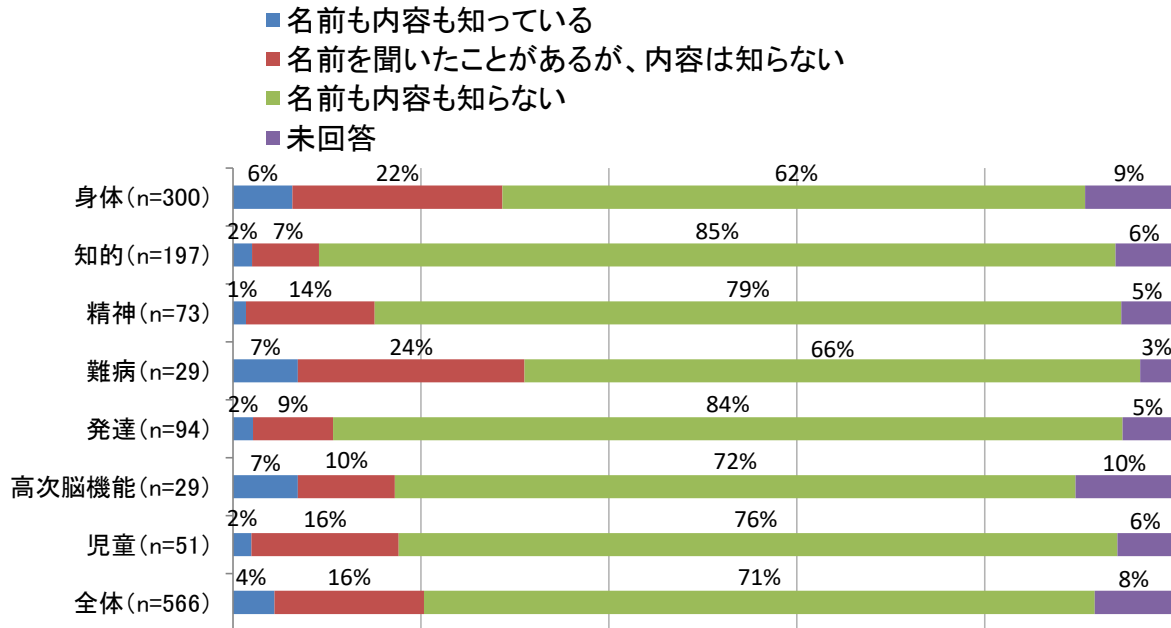
(複数回答可)

項目	身体		知的		精神		難病		発達		高次脳機能		児童		合計	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
投薬や治療が受けられない	119	18	62	11	42	23	17	18	27	10	11	12	7	6	285	14
補装具の使用が困難になる	30	4	9	2	3	2	5	5	4	1	5	5	1	1	57	3
補装具や日常生活用具の入手ができなくなる	35	5	17	3	4	2	8	8	4	1	3	3	3	3	74	4
救助を求めることができない	58	9	83	15	15	8	10	11	44	16	15	16	13	12	238	12
安全なところまで、迅速に避難することができない	128	19	86	16	27	15	19	20	48	17	18	19	21	19	347	17
災害の発生情報、被害状況、避難場所などの情報が入手できない	58	9	71	13	15	8	7	7	35	12	11	12	17	16	214	11
周囲とのコミュニケーションがとれない	42	6	90	16	28	15	4	4	55	20	14	15	17	16	250	13
避難場所の設備(トイレ等)や生活環境が不安	132	19	86	16	34	19	20	21	43	15	12	13	15	14	342	17
その他	7	1	10	2	1	1	3	3	5	2	0	0	2	2	28	1
特にない	38	6	18	3	5	3	1	1	9	3	1	1	8	7	80	4
未回答	31	5	22	4	8	4	1	1	7	2	4	4	4	4	77	4
合計	678	100	554	100	182	100	95	100	281	100	94	100	108	100	1,992	100

災害時に困ることについて、全体では「安全なところまで、迅速に避難することができない」及び「避難場所の設備(トイレ等)や生活環境が不安」がそれぞれ17%と最も高い割合となっています。障がい別にみると、知的、発達障がいのある人は、「周囲とのコミュニケーションがとれない」が高い割合となっていて、精神障がいのある人は、「投薬や治療が受けられない」が23%と最も高い割合となっています。

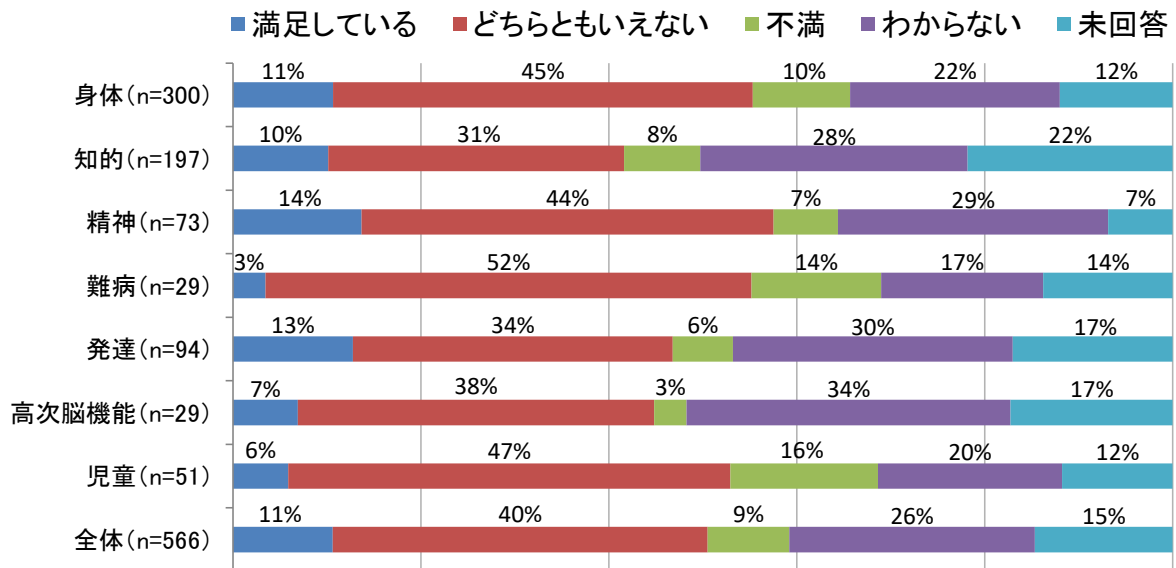
※その他回答:「在宅酸素療法なのでポンペ等が必要」、「人がたくさんいるのが苦手」、「車椅子での避難等」、「周囲に合わせた行動ができない」等

問41 避難行動要支援者制度についてご存じですか。



避難行動要支援者制度について、全体では、「名前を聞いたことがあるが、内容は知らない」又は「名前も内容も知らない」と回答した人が87%と高い割合を占めている。障がい別にみると、知的障がいのある人が「名前も内容も知らない」と回答した割合が85%と最も高くなっています。

問42 あなたは、砂川市内公共施設のバリアフリーに満足していますか。



砂川市内公共施設のバリアフリーについて、全体では、「どちらともいえない」が40%と最も高くなっています。障がい別にみると、「満足している」と回答した割合は、精神障がいのある人の14%が最も高く、「不満」と回答した割合は、障がいのある児童の16%が最も高い割合となっています。

アンケート自由記載欄まとめ

※実際に記載していただいた内容を、趣旨を損なわない範囲で要約している場合があります。

【アンケートについて】

記載内容
答えられない設問もあった。
アンケートの質問が多すぎる。子どもが対象だが、大人と一緒に質問のため理解できない。アンケートではなく直接聞いた方が良いのではないか。

【福祉サービスについて】

記載内容
障害福祉サービスに32もの事業があっぴっくりした。内容や行っている事業所があるのかなど全く何も知らなかった。もっとサービスについて教えて欲しい。一覧表などがあるとうれしい。
将来的には一人暮らしを希望している。不動産の関係や保証人のことなどがスムーズにできる地域にしてほしいと思う。私たち精神障がいを持っている人たちは、治療、日中活動できる場所、相談できる所があれば地域で生活することはできる。健康な人も障がいのある人もwith-共存-できるような、工夫を市と相談事業所がタッグを組んで、さらにできるようになればと思う。
プリントを渡されるだけで、今、自分がいったいどのサービスを受けられるのか正直よくわからない。こちらからこれを受けたいと言わなきゃ受けられないサービスってどうなのか。それぞれの人に合ったサービスを提案してもらえたらより生きやすくなると思う。
他の市か町で親の面倒を在宅で子が支援すると、市から給料等のように支給する取組があると聞いたことがある。現在私は介護福祉士として働いており、日中も夜勤もあり高齢の親がひとりで過ごしているのに不安がある。もし、そのような取組があれば日中のみのパートとして働くことも出来るのだが。
行動援護サービスを行ってほしい。
母子家庭のため、私に何かあった場合は入所を考えているのだが、ショートステイを利用しても発熱し（精神的なもの）帰宅するなど、私の不在に異常なほど不安を持ち、周囲とのコミュニケーションがとれないので、将来を心配している。家で暮らすことを望んで（本人）いるが、ひとりで暮らす事は難しいし、サービスを受けても、支援者を100%信じられるかどうかなど、不安がある。老人の養護施設と障害者施設が接合することはできないか？
障害者施設も高齢化が進み、なかなか入所が困難な状態で、今後どうなるかとても心配している。
放課後等デイサービスの自己負担をもっと減らしてほしい。放課後等デイサービスの場所を増やしてほしい、又は枠を増やしてほしい。放課後等デイサービスの専門的療育の質向上希望。
精神の病気について、気軽に相談できるカウンセラーさんがいたらよいと思う。経済的支援もほしい。年金が払えない。
市内の福祉サービスの内容をくわしく発信してほしい。
福祉サービスの種類がこんなにある事を知らなかった。もっと広報などで知らせてほしい。また、どこに相談したらよいかもわからない。
公共の温泉が砂川市には無いので、民間の入浴施設での障がい者割引もしくは、無料といったことを行ってほしい。病状の管理に、体をあたためるのが必要である為実施してほしい。自宅のお風呂では、水道料金、灯油代などの光熱費がかかるので補助なども検討してほしい。
主に砂川市の取り組みや制度の改正、資格更新期日の通知などの情報提供を望む。
こんなにサービスがあることを知らなかった。一つ一つのサービスが自分にどれが合うかわかりづらい。ちょっと話を聞いてほしいときなど困ることがある。
この度協力を願い連絡してみましたら、福祉の職員の方が来て説明をしてくれた。状態を見て聞いて用具の貸し出しを調達又事務手続など本当に助かった。ありがたく、一市民として心強く感じた昨今だった。

就労継続 A、B のようなサービスを増やしてほしい。

他市から来て数年しか経っていませんが、情報などがはいつてこないで、サービスの事などわからない。まわりに知り合いもないため、自分で動くしかないのか？もっとかんとんに情報を知ることはできないか？障害手帳を持っている人にはハガキ（書面など）で知らせてくれるとありがたい。

砂川市立病院に近く、低廉なグループホームを作って欲しい。生活のためにグループホームが必要だから。他にグループホームは近くにあるが、費用が高い。ぜひ、上記のような条件でサービスもよりグループホームを作って欲しい。

グループホームについてもっと一般に知れるようになげかけたい。若い時、もっと早くに知りたかった。グループホームの制度があって良かった。

【行政サービス等について】

記載内容
保健福祉部の相談窓口には仕切りがないため、複数の相談者がいる場合、プライバシー、個人情報に他人に漏れてしまい不快である。窓口の職員の対応があまり良くない。訪れて話しかけると嫌な表情をされた経験があり、職員の資質向上を望む。利用者の相談事をなんでも相談支援事業所に丸投げしないでほしい。通院するための交通費の補助のような金銭的な支援があると良い。
障害者手帳やその他の更更新手続きを市役所等の窓口まで行かなくてもいいシステムにしてほしい。
砂川市、教育委員会、まだまだ、福祉に対して足りないところがあると思う。更にそういう人の声をすくいあげて、よりよいサービスや取り組みを進めてほしい。内容にもよるが、障がい者の望む声を現実に実現させるまでに時間がかかりすぎている。後回しにされてると感じる。大人にも、子どもにも、よりよい過ごしやすい環境になってほしい。
子どもの障がいも重くても、介護ができる範囲で少しでも長く一緒に暮らしたいというのが親の気持ちです。困った時、悩んだ時に相談しやすい雰囲気がある行政にしてほしい。
必要な情報のやりとりを、口頭ではなく連携しながらやっていきたい。通さなくても大丈夫、必要ないから安心して下さいが一番困る。

【医療について】

記載内容
発達障がいは幼い頃からの継続的な療育やリハビリ（言葉聴覚士、理学療法士）が必要だと思うが、専門的な療育、リハビリは旭川か札幌までいかないと受けることができない。定期的に通っているが、お金と時間がかかり、2～3か月に一度通うのが精一杯である。専門的な療育やリハビリ、医療を受けることができない砂川（空知）の環境が不満である。通園センターの児童発達支援だけでなく、専門的知識のある医療関係者の方に、常日頃相談、支援できるようにならないか。不安を抱えている保護者の方は多くいると思う。
医療費が高く、カテーテル等を自分で買うため、年金生活では福祉サービスがあってもつかえない。

【暮らしについて】

記載内容
耳が遠いので困る。
死ぬまで砂川にいたい。
心配なのは、親が死んだあとです。
元気なうちは、なるべく一人で出来ることをしていきたい。
みなさん親切にしてくれる。今はデイサービスに週1回通っている。
特定疾患で一生治らないのに、毎年、隣の滝川市まで行かなければならない。いちいち書類をそろえて、お金もかかる。今は車移動出来るが、今後、一人で行けなくなったら大変困る。
何も無い。今は家族と暮らし、仕事ができないから生活面で支えてもらっている。体調が悪く入院する場合など金銭面でとても不安。NHKの受信料が払えないため、テレビも地デジになってからは家にはない。生活していく上での情報は、ラジオ、ケイタイなどである。昔住んでいた所では、防災無線があり、砂川も防災の情報が入るものがあったらと思っていたが、ラインで情報が入るので良いと思う。
今はまだ自分の事は出来るが、この先がわからないので不安。

自宅で見られなくなったら、病院とか施設などにすぐ入れるか、空いていない場合が不安。

町内の民生委員の人達、もう少し力になってほしい。町内の名前も知らないなんて困る。

【公共施設について】

記載内容
砂川駅がバリアフリーではない事。エレベーター設備がなく、車イス使用では急に利用することができない。駐車スペースも不便。（改札口狭い）乗用車改造費用の助成が受けられず、負担が大きかった。札幌通勤、通学障がい者には難しいと感じる。
駅の階段が不自由。商店の入口、冬は特にすべりやすくてこわい。歩道に電信柱がある。今は車椅子を利用していないが、母が車椅子を利用した際に通れなかった。車道にいったん降りて車椅子をpushした。
駅、バス、公共施設など、障がい者が利用しやすい様にしてほしい。
市役所、市立病院で、目的の部門に行きづらい。受付、案内等が見つけづらい
公衆トイレがない（キレイな）。
駅のエレベーターがないので病院に行くのに不自由している。駅員さんの手をかりて行っている。トイレを使う事も出来ない。
JR砂川駅の上り（2番）ホームではエレベーターもなく、身体障がい者にとっては不便だと思う。市の財政で作れないのか？小学校、中学校の支援員の数は増やしたほうがいいと思う。
こども通園センターの老朽化が著しいので検討して頂きたい。例えば、市役所の一室利用、ふれあいセンターの一室とか、社会福祉事務所との融合とか・・・。

【障がいへの理解、差別、偏見について】

記載内容
知人が就労継続支援A型の事業所を利用しているが、社員、パートから差別的な言葉や嫌がらせを受けて病状が悪化した。事業所への定期的な教育指導や監査をしてほしい。
私の子どもは中学1年生の時、同じクラスの子に言葉のいじめにあった。学校や相手の母親にも言った。母親は謝ってくれたが、心からではなく、なんとなくで、障がいのある子が普通の学校へ来るのがおかしいという捨て台詞や、トラウマなんじゃないかと言われた。いつの時代でも言葉のいじめはなくなる。私の子どもの壊れた心を返してほしい。心療内科に行っている子どもは心が壊れると時間がかかる。本当にそういう子にはどうにかしてほしい。
両膝人工関節と脊椎狭窄症のため顔色だけでは「どこも悪そうでないね」と言われるので、歩くのが遅いと皆に付いて行けないのでどこにも行きたく無い。
安心して働くことができる職場を砂川市で増やしてほしい。そして人間関係での問題が発生しにくい職場となるよう見守ってほしい。差別、偏見等で病気になり嫌な思いをする人が少なくなるように助けてほしい。障がい者という事で単調な仕事を与えるのが当たり前になってしまうのはおかしいと思う。私としては改善してほしい部分である。逆の考えもあると理解している。健常者にもストレスをかかえず楽しく働けるように・・・病気・障害に近づかないよう見守りをお願いしたい。

【就労について】

記載内容
障がい雇用枠を増やして欲しい。

【その他】

記載内容
週に3日病院通いをしてる関係上、今、コロナウイルスを心配している。最低でも病院関係者の皆さま、大変苦勞されていると思いますが、なお一層身体に十分気を付けて頂きたいと思っています。
特にありません。
いつも恵まれた生活をさせて頂いております。これもひとえに若い方々が支えてくださっているからと感謝しております。申し訳ありません。ありがとうございます。
障がい者にご支援をいただいておりますことに御礼申し上げます。
最近障害者手帳の交付を受けたばかりなので、今のところ特にありません。
障がいと向きあう必要のない人も向きあわねばいけない人も、本当に大変な思い嫌な思いたくさんしていると思います。おつかれ様です。障がい者とむきあうのは本当にきついので自分のせいではないとはいえ本当に申し訳ないです。今はある程度自分でできるので意見は特にはないですが、いつかつかうことになってしまったらよろしく願います。
子どもたちや、おとしよりを、だいじに見まもって、少しのやさしさと、美しい街作りを少しだけ進めてほしいです。自然の中にある、ありがたさを心にあたためて、一人一人がかんじとって生きてほしいです。